TOSHIBA

dynabook Qosmio

図解で読むマニュアル

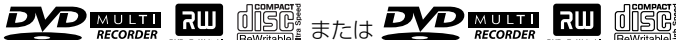
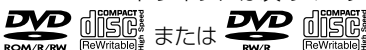
- 目的のAV機能を立ち上げる
- 手軽にAV機能を楽しむ
- 音楽を聴く
- オリジナル音楽CDを作る
- データCD／DVDを作る
- データをCD／DVDにコピーする
- DVDの映画や映像を観る
- デジタルカメラの写真を編集する
- 写真を見やすく整理する
- テレビを見る／番組を録画する
- 映像を編集してDVDに残す
- テレビ番組をDVDに直接録画する
- 文書や表、メールを作る
- サイバーサポートを使う
- パソコンの基本操作を学習する
- プロバイダの問い合わせ先
- OS／アプリケーションの問い合わせ先

もくじ

記載について

・本書に記載している画面やイラストは一部を省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・［スタート］メニューやデスクトップ、フォルダなどの内容は、お客様の使用状況により、本書と実際の表示とが異なる場合があります。

著作権について

はじめに

本製品を安全に正しくお使いいただくために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
本書では、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。必ずお読みください。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「 」 他のマニュアルへの参照の場合 …『 』

用語について

本書では次のように定義します。

Windows XP ……Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

Office Personal 2003 ……Microsoft® Office Personal Edition 2003 を示します。

Word 2003 ……Microsoft® Office Word 2003 を示します。

Excel 2003 ……Microsoft® Office Excel 2003 を示します。

Outlook 2003 ……Microsoft® Office Outlook® 2003 を示します。

ドライブ ……DVDスーパーマルチドライブ／DVDマルチドライブ／DVD-R/-RWドライブ／DVD-ROM&CD-R/RWドライブを示します。
内蔵されているドライブはモデルによって異なります。
参照 ドライブについて『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

DVDスーパーマルチドライブモデル ……DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。
DVDスーパーマルチドライブには次のマークが入っています。
DVD MULTI RECORDER　RW DVD+ReWritable　COMPACT disc ReWritable Ultra Speed　または　DVD MULTI RECORDER　RW DVD+ReWritable　COMPACT disc ReWritable High Speed
または　COMPACT disc ReWritable High Speed　DVD MULTI RECORDER　RW DVD+ReWritable
＊マークの位置や並び順は異なる場合があります。

DVDマルチドライブモデル ……DVDマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。
DVDマルチドライブには次のマークが入っています。
DVD MULTI RECORDER　COMPACT disc ReWritable High Speed
＊マークの位置や並び順は異なる場合があります。

DVD-R/-RWドライブモデル ……DVD-R/-RWドライブが内蔵されているモデルを示します。
DVD-R/-RWドライブには次のマークが入っています。
DVD ROM/R/RW　COMPACT disc ReWritable High Speed　または　DVD RW/R　COMPACT disc ReWritable High Speed
＊マークの位置や並び順は異なる場合があります。

Office搭載モデル ……Microsoft® Office Personal Edition 2003がプレインストールされているモデルを示します。

TVチューナ内蔵モデル ……TVチューナが内蔵されているモデルを示します。

D映像出力端子モデル ……D映像出力端子が搭載されているモデルを示します。

TOSHIBA Virtual Sound搭載モデル …TOSHIBA Virtual Soundが搭載されているモデルを示します。

Trademarks

本書に掲載の商標および登録商標については、巻末をご覧ください。

目的のAV機能を立ち上げる

QosmioUI（コスミオ ユーアイ）

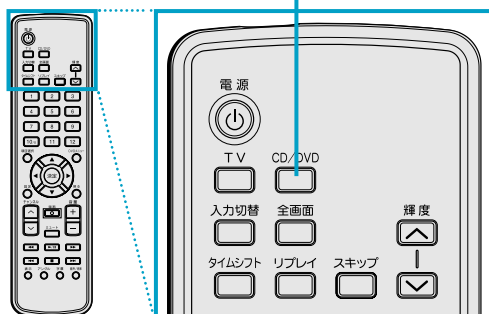
＊Qosmioシリーズのみ

「QosmioUI」は、テレビを見る、ビデオを見る、音楽を聴く、写真を見る、といったエンターテイメントへの入り口を1つにまとめたWindows上のアプリケーションです。「QosmioUI」の画面から、やりたいことを選ぶと、目的にあわせたアプリケーションを立ち上げ（起動し）たり、フォルダを開くことができます。また、画面の明るさや音量、音質の調節など、エンターテイメントを楽しむときに役立つ設定もできます。

「QosmioUI」の操作は、タッチパッドやマウスだけでなく、同梱のリモコンも使用できます。

QosmioUIを使う

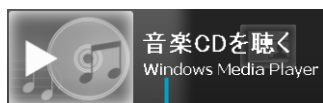
ここでは、「QosmioUI」から、「InterVideo WinDVD」を起動する方法を説明します。

1 リモコンの［CD/DVD］ボタンを押す

「QosmioUI」はリモコンを使わない場合でも、［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［QosmioUI］をクリックして、起動することができます。

メニューバー
P4を確認してください。

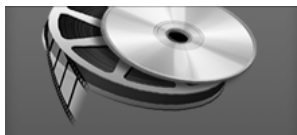
ツールバー
P4を確認してください。

やりたいことを示したアイコンが、各分類ごとに並べられています。

【例】音楽CDを聴きたいとき

アプリケーション名またはフォルダ名

アイコンの分類

アイコンは目的別に分類されています。

テレビ
テレビを見たり、番組を録画できます。

ビデオ
DVDの再生や、映像ファイルの再生／編集ができます。

音楽
音楽CDや音楽ファイルの再生ができます。

写真
デジタルカメラで撮影した写真などの画像を見ることができます。

デモ
サンプルビデオを表示します。

2 リモコンの［◀］または［▶］ボタンを押して、やりたいことの分類を選択する

ここでは［ビデオ］を選択します。

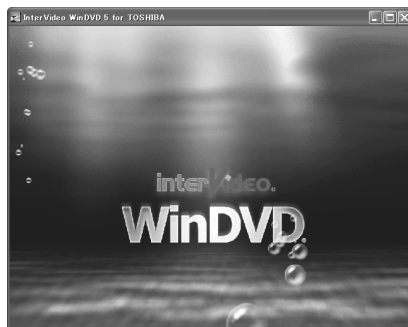
3 リモコンの［▼］または［▲］ボタンを押して、やりたいことの分類を選択する

ここでは［DVDを観る］アイコンを選択します。

4 リモコンの［決定］ボタンを押す

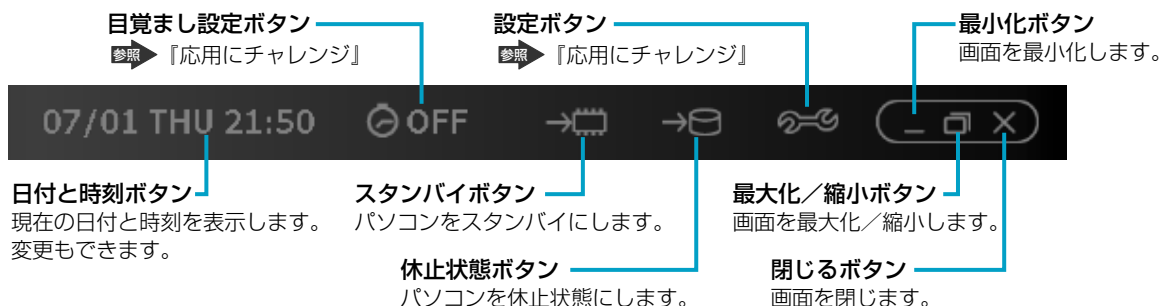
「InterVideo WinDVD」が起動しました。

リモコンのボタン位置

［◀］、［▶］、［▼］、［▲］、［決定］ボタンの位置は次のとおりです。

メモ

タッチパッドやマウスで操作するときは、やりたいことのアイコンをクリックしてください。

メニューバー

メニューバーでは、次のような設定ができます。

ツールバー

ツールバーでは、次のような設定ができます。

出力設定

VIDEO-OUT　PC　TV

表示装置を、本体液晶ディスプレイまたはテレビに切り替えます。［TV］に切り替えると、パソコン本体に接続したテレビに、デスクトップ画面を表示できます。

輝度設定

BRIGHTNESS　8

本体液晶ディスプレイの輝度を調節します。

ドライブ速度

DRIVE SPEED　標準　静音

音楽CDを楽しむときに、ドライブの動作音が気になる場合は、［静音］に切り替えると、ドライブの回転速度をおさえて動作音を小さくできます。

PC　S　8　4　OFF

映像設定

PICTURE ENHANCEMENT　あざやか　標準　映画　オフ　詳細

映像を観る環境にあわせて、画質を調整します。

＊ D映像出力端子モデルのみ表示されます。

音量

VOLUME　6

音量を調節します。

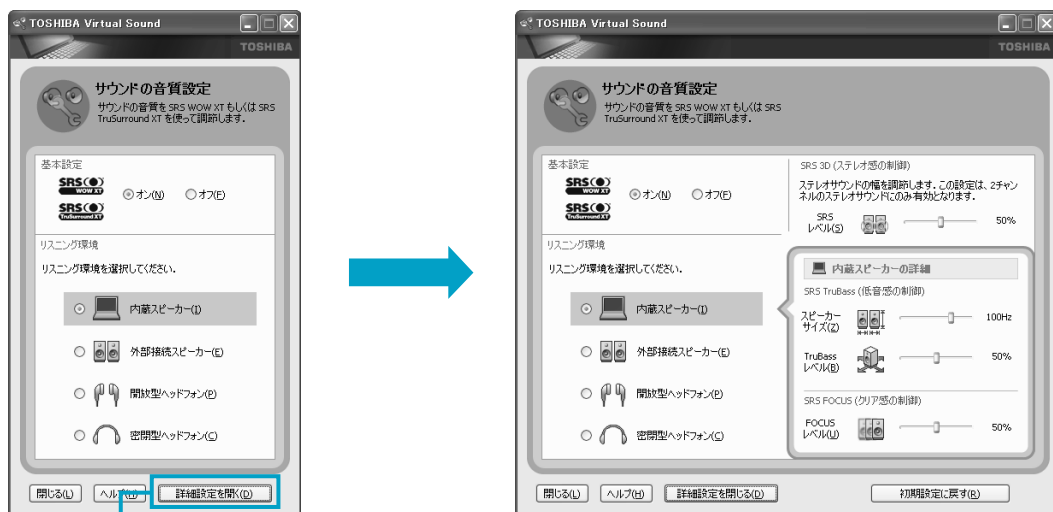
音質設定

VIRTUAL SOUND　オン　オフ　詳細

音楽や音声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整します。調整したサウンド効果を使うときは［オン］、使わないときは［オフ］に切り替えます。［詳細］ボタンをクリックすると、［TOSHIBA Virtual Sound］画面（東芝バーチャルサウンド）画面が表示され、音質の調整ができます。詳細はP5を確認してください。

＊ TOSHIBA Virtual Sound搭載モデルのみ表示されます。

TOSHIBA Virtual Sound

「TOSHIBA Virtual Sound」は、SRS社のSRS WOW XT（エスアールエス・ワウ・エックスティ）やSRS TruSurround XT（エスアールエス・トゥルーサラウンド・エックスティー）技術を使い、音楽や音声を聴く環境にあわせて、サウンドの音質を調整するユーティティです。SRS WOW XTやSRS TruSrround XT技術の音響強化機能を利用して、お好みの音質でサウンドをお楽しみいただけます。
QosmioUIのツールバーで、音質設定→［詳細］ボタンをクリックすると、［TOSHIBA Virtual Sound］画面が表示されます。［詳細設定を開く］ボタンをクリックすると、更に詳細な調節を行うことができます。

［詳細設定を開く］ボタンをクリック

機能や操作の詳細は「TOSHIBA Virtual Sound」のヘルプを確認してください。ここでは機能の概要を紹介します。

4つのリスニング環境のそれぞれに適した音質を設定する
「内蔵スピーカ」「外部接続スピーカ」「密閉型ヘッドフォン」「開放型ヘッドフォン」の中から、お使いの環境に合わせたモードを選択でき、それぞれに適した音質を設定できます。

低音感を調節する
音の出力レベルとスピーカーサイズを調節することにより、低音感をお好みにより設定できます。

サウンドのステレオ感を調節する
音の広がりをお好みにより設定できます。

サウンドのクリア感を調節する
音のクリア感をお好みにより設定できます。

ヘルプの起動方法
［TOSHIBA Virtual Sound］画面の［ヘルプ］ボタンをクリックします。

「QosmioUI」の詳細については、『応用にチャレンジ』を確認してください。

【「QosmioUI」の問い合わせ先】

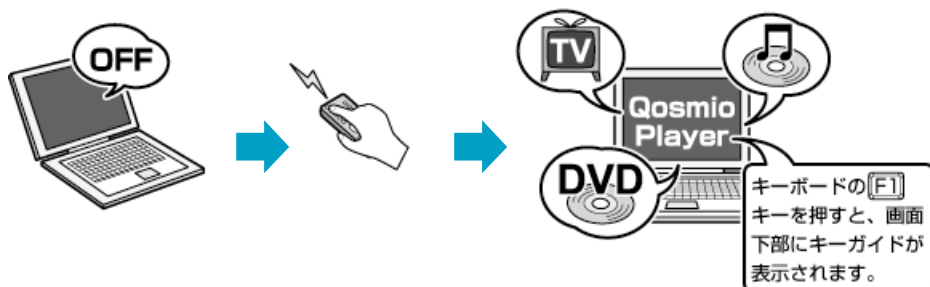
東芝（東芝PCダイヤル）
ナビダイヤル　：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間　　　：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

手軽にAV機能を楽しむ

QosmioPlayer（コスミオプレーヤ）

＊Qosmioシリーズのみ

「QosmioPlayer」を使うと、ボタンやキーを押すだけで、Windowsを起動せずに、テレビ映像を表示したり、テレビ番組を録画したり、音楽CDやDVD-Videoを再生できます。

① パソコンが次のとき
・電源オフ
・休止状態

② リモコンのボタンを押す

③ パソコンの電源が入り、「QosmioPlayer」が起動

メモ

- 「QosmioPlayer」は、キーボードやパソコン本体のボタンで操作することもできます。
- 「QosmioPlayer」の詳細については、『応用にチャレンジ』を確認してください。
- 「QosmioPlayer」を使用中に、リモコンやキーボードからの操作が効かなくなったときには、パソコン本体の電源スイッチを5秒以上押して強制終了し、起動し直してください。
- 「QosmioPlayer」を使用中にモニター機能を実行すると、すべての動作が停止します。
- 外部入力から音声を入力した状態で「QosmioPlayer」を起動／終了すると、「QosmioPlayer」が起動するまでの間、もしくは、「QosmioPlayer」を終了して電源が切れるまでの間は、外部入力の音声が出力されます。
- Windowsは、「QosmioPlayer」を終了してからのみ、起動できます。Windows起動中は、「QosmioPlayer」は使用できません。

テレビを見る

ここでは、「QosmioPlayer（TV）」を使ってテレビを見る方法について説明します。

1 テレビアンテナを、アンテナF型変換ケーブルを使ってパソコンに接続する

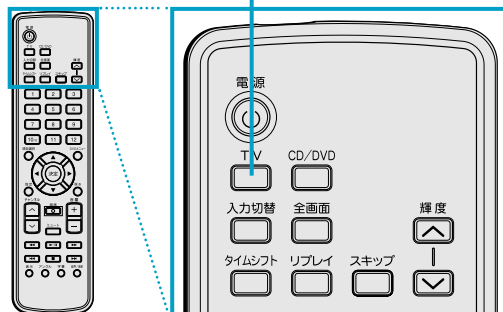
接続方法と使用上の注意については、『応用にチャレンジ』を確認してください。

「QosmioPlayer」の終了方法

終了方法は、テレビ／音楽CD／DVD-Videoのいずれも同じです。

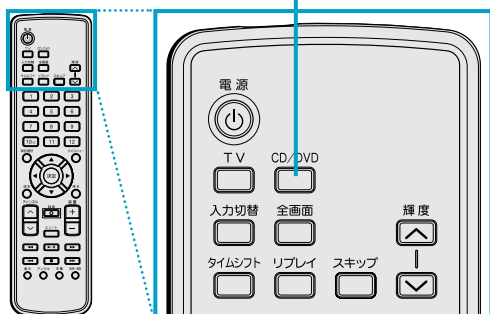
1 リモコンの［電源］ボタンを押す

「QosmioPlayer」が終了し、パソコンが電源オフまたは休止状態になります。

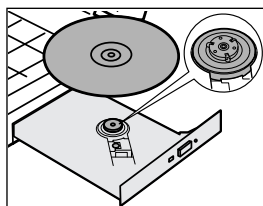
2 リモコンの［TV］ボタンを押す

パソコンの電源が入り、「QosmioPlayer」が起動します。テレビ映像が、パソコンの本体液晶ディスプレイに表示されます。録画については、P8「テレビ番組を録画する」を確認してください。

音楽CDを聴く／DVD-Videoを再生する

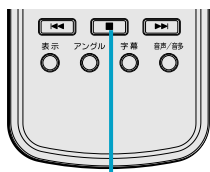
ここでは、「QosmioPlayer（CD）」を使って音楽CDを聴く方法について説明します。
「QosmioPlayer（DVD）」でDVD-Videoを再生する場合は、手順2でドライブにDVDをセットしてください。

1 リモコンの［CD/DVD］ボタンを押す

パソコンの電源が入り、「QosmioPlayer」が起動します。

メディアの挿入をうながすメッセージが表示されます。
メディアがセットされているときは、自動的に再生が始まります。

2 ドライブに音楽CDをセットする

「カチッ」と音がするまで、上から押さえてセットしてください。
再生が始まります。
再生が開始するまで、少し時間がかかる場合があります。

再生の停止方法

再生を停止するには、リモコンの［停止］ボタンを押します。
停止後、キーボードの E キーを押すと、ディスクトレイが出てきます。

［停止］ボタン

お願い 「QosmioPlayer（CD）」「QosmioPlayer（DVD）」の使用にあたって

- 汚れや傷のあるCD／DVDは、再生できない場合があります。また汚れや傷がひどいとCD／DVDを取り出せなくなる場合もあります。イジェクトホールを使用してCD／DVDを取り出してください。

参照 イジェクトホール『さあ始めよう』

【「QosmioPlayer（DVD）」の使用にあたって】

- DVDは、制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。
  QosmioPlayer（DVD）はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作した通りに動作しないことがあります。
- 操作中に「⊘」が画面に表示されることがあります。「⊘」が表示されたときは、QosmioPlayer（DVD）またはDVD-Videoがその操作を禁止しています。
- 再生するDVDに付属の説明書も合わせてお読みください。
- DVDの再生はRegion（リージョン）コードが「2」、「ALL」のものをご使用ください。
- 再生するDVDのタイトルによっては、コマ落ちまたは音飛びする場合があります。
- 本体液晶ディスプレイでのみ再生できます。外部映像出力はサポートしていません。
- パレンタルコントロールが設定されたDVDタイトルでは、DVD-Videoであらかじめ設定されているシーンが再生されます。パレンタルコントロールのレベル設定はサポートしておりません。
- Video CD、DVD-Audio、-VRフォーマットまたは+VRフォーマットで保存されたデータの再生はサポートしていません。また、ファイナライズされていないメディア、MPEGやDivX、「ミニDVD」形式などのファイル再生もサポートしていません。
- ClosedCaptionの表示は行いません。
- 音声は必ず2chで出力されます。
- DTS、SDDSの音声を含むタイトルの場合、それらの音声を選択した場合には、音声は出力されません。
- SPDIFからの音声出力はサポートしていません。
- カラオケモードには対応していません。
- 連続して操作をする場合は、直前の動作が完了してから次の操作をしてください。動作が完了する前に次の操作をすると、目的の動作をしない場合があります。

テレビ番組を録画する

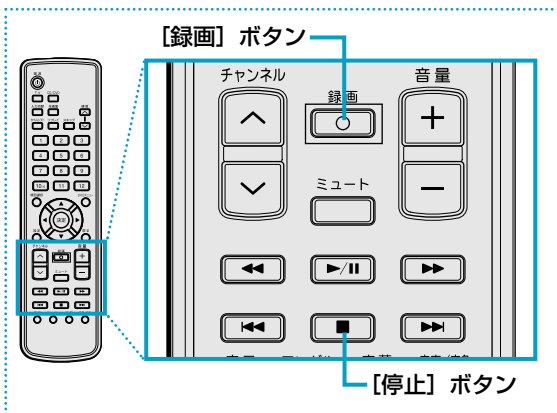
ここでは、「QosmioPlayer（TV）」を使ってテレビ番組を録画する方法について説明します。
「QosmioPlayer（TV）」で録画したテレビ番組は、録画タイトルとしてライブラリに登録されます。登録できるのは10件までです。

1 「QosmioPlayer（TV）」でテレビを表示する

P6「テレビを見る」を確認してください。

2 番組を見ながら、録画したいシーンでリモコンの［録画］ボタンを押す

画面に録画アイコン（●）が表示され、録画が開始されます。

メ モ

録画中は、ほかの番組を視聴することはできません。

3 録画を停止したいシーンで、リモコンの［停止］ボタンを押す

録画を停止します。

リモコンのボタン位置

追っかけ再生／お好み再生

【追っかけ再生】
録画しながら、録画を開始したところに戻って再生できます。録画が終了していなくても、録画した映像を見ることができて便利です。
録画中に、リモコンの［タイムシフト］ボタンを押すと開始／停止します。

【お好み再生】
テレビ映像を一時停止し、以降の内容を録画できます。テレビ視聴を中断したいとき、後で中断したところからの映像を見ることができて便利です。
視聴中にリモコンの［タイムシフト］ボタンを押すと、映像を一時停止して録画を開始し、［再生／一時停止］ボタンを押すと一時停止したところから再生します。［タイムシフト］ボタンを再び押すと録画を停止します。

お願い 「QosmioPlayer（TV）」での録画にあたって

- テレビ映像の録画中は、「QosmioPlayer（TV）」を終了しないでください。
- テレビ映像の録画中は、「QosmioPlayer（CD）」や「QosmioPlayer（DVD）」への切り替えができません。
- ハードディスクに録画用の空き容量が無い場合はエラーメッセージが表示され、録画は開始されません。
- 既にライブラリに録画タイトルが10件ある場合、録画はできません。
- 外部入力機器からコピープロテクトがかかった映像を録画すると録画データの映像が単色に塗りつぶされます。

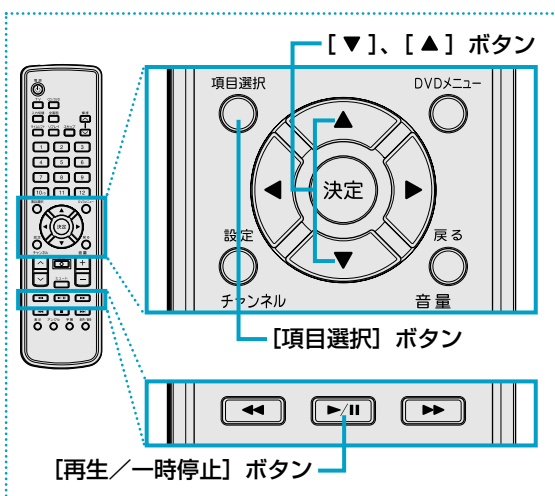
リモコンの［設定］ボタンを押すと、「テレビ設定メニュー」で、チャンネルや画質、録画などの設定ができます。
「録画設定」の「録画モード」では、録画画質を「高画質」、「標準」（購入時の状態）、「長時間」から選択できます。
録画できる時間は、画質によって異なります。また、「長時間」を選択した場合でも、1タイトルの最長録画時間は約180分です。詳しくは『応用にチャレンジ』を確認してください。

録画した番組を再生する

ここでは、ライブラリに登録された録画タイトルを、「QosmioPlayer（TV）」で再生する方法を説明します。
ライブラリには、録画タイトルが一覧表示されます。録画タイトルには、チャンネル、録画開始日時、録画時間、画質が表示されます。また、録画中の録画タイトルには録画アイコン（●）が表示されます。録画タイトルは、新しいものが上から順に表示されます。
ライブラリには、録画タイトルの保存に使用できる、ハードディスクの空き容量と総容量も表示されます。

1 「QosmioPlayer（TV）」でテレビを表示する

P6「テレビを見る」を確認してください。

リモコンのボタン位置

2 リモコンの［項目選択］ボタンを押す

ライブラリが表示されます。

3 リモコンの［▼］または［▲］ボタンを押して録画タイトルを選択する

4 リモコンの［再生／一時停止］ボタンを押す

録画した番組が、パソコンの本体液晶ディスプレイに表示されます。

Windows上で再生する／DVDに残す

「QosmioPlayer（TV）」で録画したテレビ番組を、Windows上のアプリケーションで再生したり、編集してDVDに残すには、ライブラリに登録されている録画タイトルを、Windowsに転送する必要があります。
転送には、「QosmioPlayer転送ユーティリティ」を使います。
録画タイトルはMPEGファイルに転送されます。
詳細については、『応用にチャレンジ』を確認してください。

転送したファイルを編集してDVDに残す方法は、P34「映像を編集してDVDに残す」を確認してください。

【「QosmioPlayer」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）
ナビダイヤル　：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間　　　：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

音楽を聴く

BeatJam for TOSHIBA（ビートジャム フォー トウシバ）

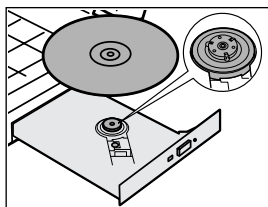
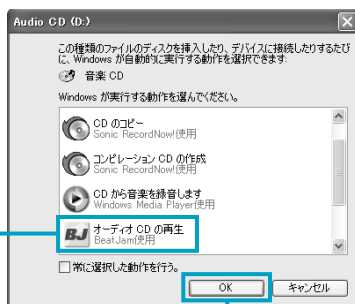
音楽を聴くには、「BeatJam」を使います。音楽CDを聴く以外にも、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。

音楽CDを聴く

ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「BeatJam」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする

2 操作の目的を選択する

［オーディオCDの再生 BeatJam使用］が表示されていない場合は、▼をクリックして表示してください。

① ［オーディオCDの再生 BeatJam使用］をクリック

② ［OK］ボタンをクリック

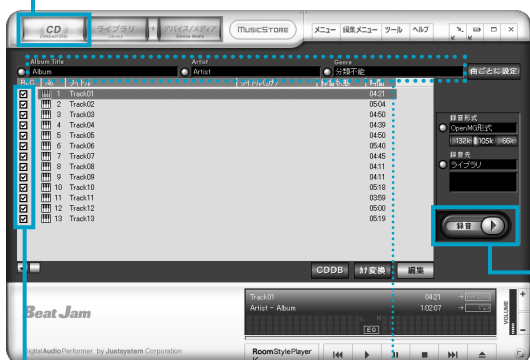
【初めて起動したとき】
［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。

「BeatJam」が起動しなかったときは、［スタート］→［すべてのプログラム］→［JUSTSYSTEMアプリケーション］→［BeatJam］→［BeatJam］をクリックしてください。

音楽ファイルを作る／聴く

ここでは、音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。音楽ファイルを作ったら、そのファイルを再生してみましょう。あらかじめ、ドライブに音楽CDをセットしておいてください。

1 音楽CDから録音する曲を選択する

① ［CD］ボタンをクリック
CDパネルが表示されます。

② 録音する曲をチェックする
録音しない曲はチェックをはずしてください。

③ ［録音］ボタンをクリック

ここで、アルバムタイトルやアーティスト名などを設定することもできます。

2 録音する形式を選択する

ここでは、［OpenMG形式］を選択します。

① ［OpenMG形式］をクリック

② ［OK］ボタンをクリック

3 音楽を聴く

① [CD] ボタンをクリック
CDパネルが表示されます。

曲をクリックすると、その曲から再生を始めます。

曲を選択しない場合は、1番上に表示されている曲から順番に再生されます。

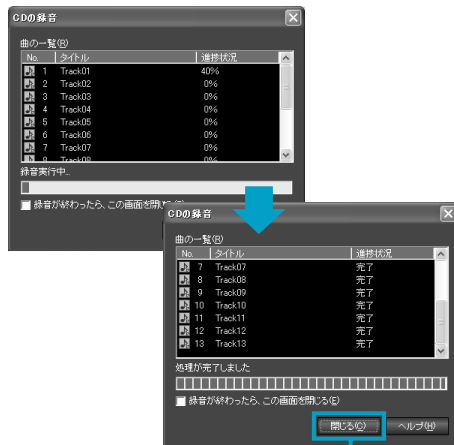
② [再生] ボタンをクリック

これで再生できました。

曲は、「Track（トラック）」と表示されます。

メモ

・「CDドライブのチェックを実行しますか？」というメッセージが表示された場合は、チェックを行うときは［はい］ボタン（推奨）、行わないときは［いいえ］ボタンをクリックしてください。
チェックを行うと、ドライブを最適な状態で使用することができます。

音楽CDの曲がパソコンに録音され、
音楽ファイルの作成が始まります。

① [閉じる] ボタンをクリック

音楽ファイルの作成が完了したら、［閉じる］ボタンをクリックしてください。

3 音楽ファイルを再生する

ライブラリパネルが表示されます。作成した音楽ファイルは、ライブラリパネルで再生できます。

① [再生] ボタンをクリック

これで再生できました。

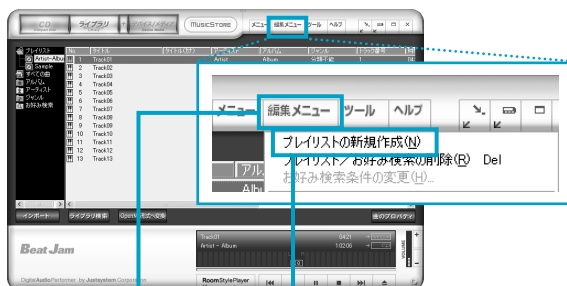
メモ

・「BeatJam」では、MP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することができません。
・音楽CDの曲情報をGracenote CDDBから取り込むことができます。Gracenote CDDBについては、「BeatJam」のヘルプを確認してください。Gracenote CDDBは、ユーザ登録しないと使用できません。

自分だけの演奏リスト（プレイリスト）を作る

ここでは、プレイリストを作る方法を説明します。音楽ファイルを好きな順番に並べて1つにまとめたものを「プレイリスト」といい、自分だけの演奏リストを作ることができます。

1 ［ライブラリ］ボタンをクリックする

2 プレイリストを作る

① ［編集メニュー］をクリック

② ［プレイリストの新規作成］をクリック

CDパネルの操作画面

ここでは、CDパネルの操作画面について説明します。

切り替えボタン
表示パネルを切り替えます。

CD　ライブラリ　デバイス／メディア

ライブラリパネル
「BeatJam」で管理している曲を一覧できます。

CDパネル
音楽CDを聴く／音楽CDから曲を録音するときに使います。

MUSICSTORE
クリックすると、音楽配信サイトを紹介する画面が表示されます。

MUSICSTORE

メニュー
「BeatJam」の各操作を行うことができます。

編集メニュー
現在編集しているパネルに関するメニューが表示されます。

メニュー　編集メニュー　ツール　ヘルプ

ヘルプ
「BeatJam」のヘルプを表示します。

ミニプレイヤー
操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。　をクリックするとミニプレイヤーに切り替わります。

操作ボタン
再生操作を行います。

停止

一時停止

再生

次の曲
再生する曲を1つ進めます。

RoomStylePlayer

RoomStyleプレイヤー
画面全体に表示されたムービーを楽しみながら音楽を聴くことができます。

頭出し／前の曲
再生中の曲の頭出し、または曲を1つ戻します。

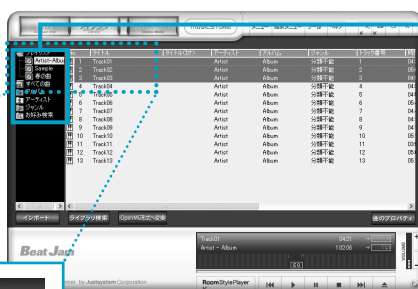
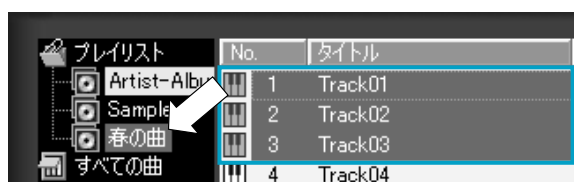
VOLUME

音量を調整します。＋ボタンをクリックすると音量が大きくなり、－ボタンをクリックすると小さくなります。

3 プレイリストに名前をつける

［New Playlist］という新しいプレイリストが追加されます。
［New Playlist］の名前は変更できます。
キーボードから、名前を入力してください。

名前が変更されます。
ここでは「春の曲」と入力しました。
プレイリスト名を変更したいときは、プレイリスト上で右クリックし、表示されたメニューの［名前の変更］をクリックしてください。

4 プレイリストに曲を追加する

① 新規作成したプレイリストに追加したい曲が入っているプレイリストをクリック
ここでは［Artist-Album］をクリックします。

② 追加したい曲を選択し、新しいプレイリスト（［春の曲］）にドラッグアンドドロップ

曲を複数選択したいときは、CTRL キーを押したまま曲をクリックします。

5 プレイリストが完成

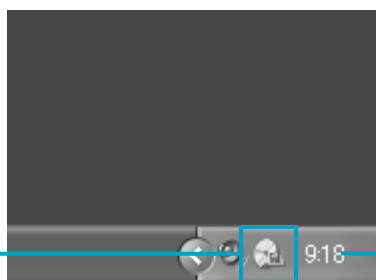
新しいプレイリスト（［春の曲］）をクリックして、曲が追加されたことを確認しましょう。

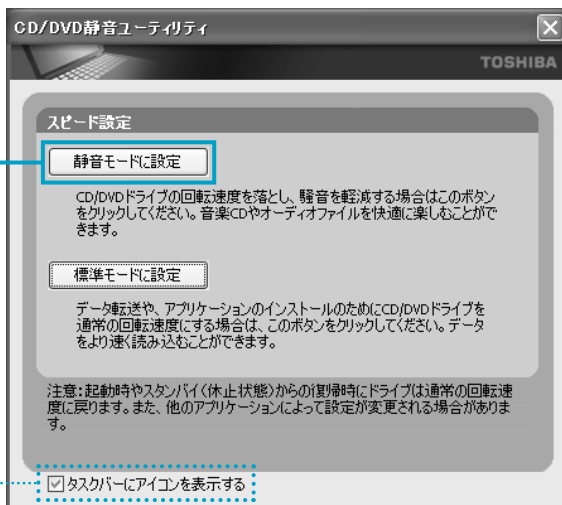
メモ

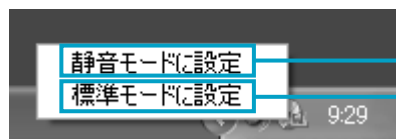
- 音楽を聴くアプリケーションとして、「Windows Media Player」も用意されています。「Windows Media Player」についての詳細は、『ヘルプとサポート センター』を確認してください。
- リモコンが同梱されているモデルでは、リモコンを使って再生操作を行うことができます。詳細は『応用にチャレンジ』を確認してください。

ドライブの動作音を小さくする

音楽CDを楽しんでいるときに、ドライブの動作音が気になるときは、「CD/DVD静音ユーティリティ」を使ってみましょう。
ドライブの回転速度をおさえ、動作音を小さくします。

1 [CD/DVD静音ユーティリティ] アイコンをダブルクリックする

2 [静音モードに設定] ボタンをクリックする

[タスクバーにアイコンを表示する] のチェックをはずすと、通知領域のアイコン（ ）が消えます。
この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、[コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [CD/DVD静音ユーティリティ] をクリックします。
通知領域にアイコン（ ）をもう1度表示するには、[タスクバーにアイコンを表示する] をチェックしてください。

画面が閉じて、静音モードに設定されます。
これでドライブの動作音が小さくなります。

通知領域の [CD/DVD静音ユーティリティ] アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから、モードを選択することもできます。

音楽CDを聴き終わった後は、「標準モード」に設定し直してください。
「静音モード」に設定しているとCDの読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりもCDの読み出しに時間がかかります。

「静音モード」に設定しても、次のような場合は、「標準モード」に切り替わります。
・ システムを再起動したとき
・ スタンバイ、休止状態から復帰したとき
・「RecordNow!」でCD/DVDの書き込み／編集を行うとき
・ CD速度を設定するアプリケーションを使用したとき

【「BeatJam」の問い合わせ先】

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口
受付時間　：平日　10:00～19:00
　　　　　　土・日・祝日　10:00～17:00
　　　　　　（特別休業日を除く）
TEL　　　：東京　03-5412-2624
　　　　　　大阪　06-6886-2624
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター
＊ サポートセンターへのお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
受付時間　：平日　10:00～19:00
　　　　　　土・日・祝日　10:00～17:00
　　　　　　（特別休業日を除く）
TEL　　　：東京　03-5412-3980
　　　　　　大阪　06-6886-7160
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

オリジナル音楽CDを作る

RecordNow! for TOSHIBA
（レコード ナウ フォー トウシバ）

オリジナルの音楽CDを作るには、「RecordNow!」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。

お願い 「RecordNow!」を使うために

【CD/DVDに書き込む前に】

CD/DVDに書き込みを行うときは、Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
CD/DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

● CD/DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

参照 使用できるメディアについて 『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

● バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源に接続してご使用ください。
● 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

● 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
・ スクリーンセーバ
・ ウイルスチェックソフト
・ ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
・ モデムなどの通信アプリケーション など
ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
● SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
● LANを経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
●「RecordNow!」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。

【書き込み／削除を行うにあたって】

● タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコンの操作を行わないでください。
● パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
● 書き込み／編集作業中は、次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、スマートメディア、光デジタル対応機器、ビデオ入力コネクタに接続する機器
● パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
● 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

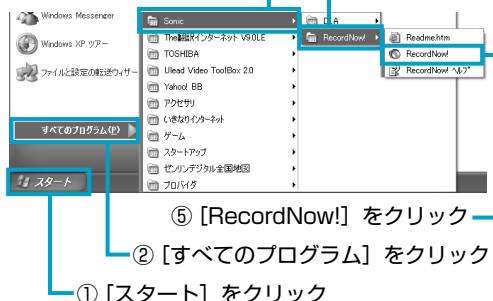
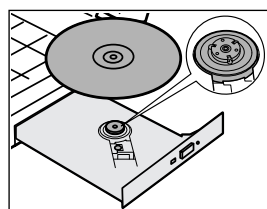
・ 作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

オリジナル音楽CDを作る

ここでは、既成の音楽CDから、曲をいったんパソコンに取り込み、その後CD-Rに書き込んで音楽CDを作る方法を説明します。

1 起動する

③［Sonic］をクリック
④［RecordNow!］をクリック

⑤［RecordNow!］をクリック
②［すべてのプログラム］をクリック
①［スタート］をクリック

2 ドライブに音楽CDをセットする

音楽CDをセットした後に、［Audio CD］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

準備が終了すると、［書き込む音楽］に選択した曲が表示されます。

7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-Rをセットする

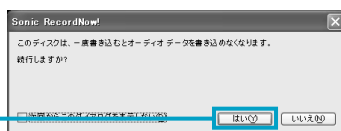
8 ［書込み］ボタンをクリックする

CDの空き領域が表示されます。

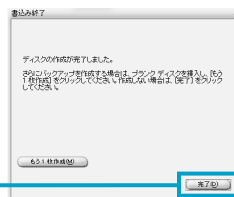
書き込む曲の長さが表示されます。

メモ

・他の音楽CDからも取り込みたい場合は、ここで音楽CDを入れ替え、手順5～6を繰り返します。
・曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CDの書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

10 ［完了］ボタンをクリックする

メモ

さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、ドライブに未使用のCD-Rを入れ替えて、［もう1枚作成］ボタンをクリックしてください。

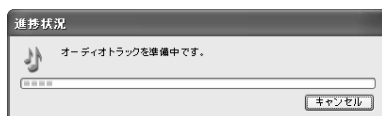
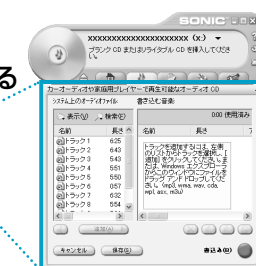
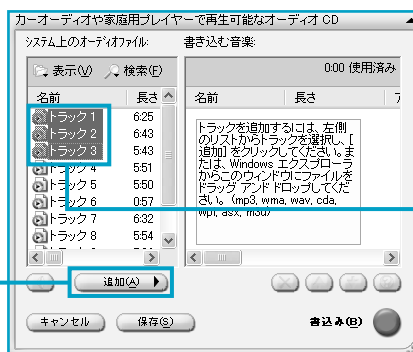
3 ［オーディオ］タブをクリックする

4 ［カーオーディオや家庭用プレイヤーで再生可能なオーディオCD］をクリックする

5 ［ドライブ］を選択する

① ［表示］をクリック

② ［ドライブ］をクリック

6 書き込みたい曲（トラック）を選択する

選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

① 曲を選択する

曲は、「トラック」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、CTRLキーを押したまま目的の曲をクリックしてください。

② ［追加］ボタンをクリック

ヘルプの起動方法

「RecordNow!」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Sonic］→［RecordNow!］→［RecordNow!ヘルプ］をクリックする

【「RecordNow!」の問い合わせ先】

ソニック・サポートセンター

受付時間　：10:00〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝祭日・年末年始・特別行事日を除く）

TEL　　　：03-5232-6400

お問い合わせは、ソニック・ソリューションズのサポートページのメールサポートフォームより質問内容をお送りください。

ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html

データCD／DVDを作る

レコード　ナウ　フォー　トウシバ
RecordNow! for TOSHIBA

パソコンに取り込んで編集した画像など、容量の大きいデータをCD/DVDに書き込むには、「RecordNow!」を使います。「FinePixViewer Lite」で編集した画像をCD/DVDに書き込んで知り合いに配ったりするのにも便利です。

参照 FinePixViewer Liteについて P24「デジタルカメラの写真を編集する」

＊DVDへの書き込みができるのは、DVDスーパーマルチドライブモデル、DVDマルチドライブモデル、DVD-R/-RWドライブモデルのみ

データCD／DVDを作る

ここでは、パソコンに保存されているデータをCD-R/DVD-Rに書き込んで、データCD／DVDを作る方法を説明します。

1 あらかじめ書き込みたいデータを用意しておく

CD-R、CD-RWなどにデータを書き込んだ場合、データを保護するために「読み取り専用」になっていて、記録ができない場合があります。データを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

2 起動する

お願い　データCD／DVDを作るにあたって

＊データCD／DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。P15「オリジナル音楽CDを作る-「RecordNow!」を使うために」と合わせてご覧ください。使用できるメディアについては、『困ったときは 2章 3 CD/DVDにデータのバックアップをとる』の「RecordNow!」に当てはまる部分をご覧ください。

【書き込む前に】

● 「RecordNow!」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。

● DVD-R、DVD+Rにデータを追記した場合、そのDVD-R、DVD+Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE*1、WindowsMe*2などの16ビット系OSではDVD-R、DVD+Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0*3ではService Pack 6以降、Windows 2000*4ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

【書き込み／削除を行うにあたって】

● 「RecordNow!」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

① 「RecordNow!」を起動し、画面右上の［オプション］ボタン（ ）をクリックする
　［オプション］画面が表示されます。

② 画面左側の一覧の［データ］をクリックする

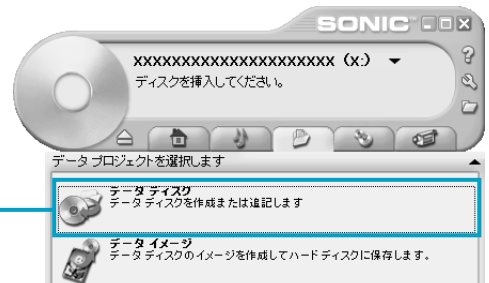
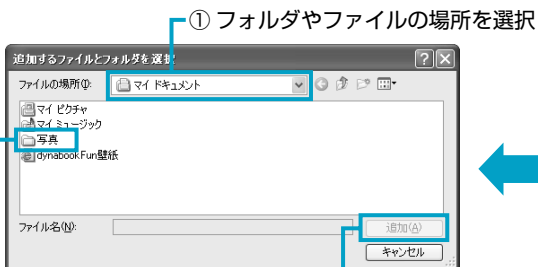
③ ［データオプション］の［書込み後、ディスクに書き込まれたデータをベリファイする］をチェックする

④ ［OK］ボタンをクリックする

＊1 Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system日本語版を示します。
＊2 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
＊3 Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。
＊4 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

3 ［データプロジェクト］タブをクリックする

4 ［データディスク］をクリックする

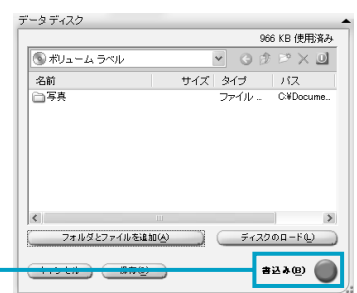
5 ［フォルダとファイルを追加］をクリックする

6 書き込みたいフォルダやファイルを指定する

① フォルダやファイルの場所を選択

② フォルダやファイルを選択　③［追加］をクリック

選択したフォルダやファイルが表示されます。

7 未使用のDVD-R、CD-Rをドライブにセットする

8 ［書込み］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CD/DVDへの書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

9 ［完了］ボタンをクリックする

メモ

「RecordNow!」の問い合せ先については、P17を参照してください。

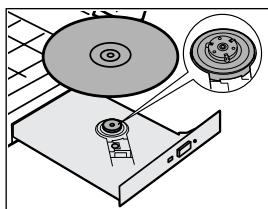
データをCD／DVDにコピーする

ディーエルエー フォー トウシバ
DLA for TOSHIBA

1枚のCD/DVDに繰り返しデータを書き込みたい場合は、「DLA」を使います。書き込み方法も簡単なので、頻繁にデータを保存したいときに便利です。「DLA」で使用できるメディアはDVD-RW、DVD+RW、CD-RWのみです。ご使用のモデルと使用できるメディアについての詳細は、『困ったときは 2章 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』をご覧ください。

CD／DVDをフォーマットする

初めて「DLA」で使用するCD/DVDは、使用前にフォーマットが必要です。次の手順でフォーマットを行ってください。

1 ドライブにフォーマットしたいCD/DVDをセットする

2 ［マイ コンピュータ］を表示する

お願い 「DLA」を使うために

＊「DLA」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。『困ったときは 2章 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』と合わせてご覧ください。

- Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトは使用しないでください。
- CD/DVDをフォーマットすると、CD/DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「DLA」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「DLA」でフォーマット／書き込みしたメディアを他のパケットライトソフトでは使用しないでください。
  また、他のパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「DLA」で使用する場合は、「DLA」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダが消失することがあります。
- 「DLA」で書き込んだメディアを「DLA」がインストールされていないパソコンで読み出すには、メディアに「互換化」が必要です。詳しくは「DLA」のヘルプをご覧ください。

ヘルプの起動方法

「DLA」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Sonic］→［DLA］→［DLAヘルプ］をクリックする

3 ［フォーマット］を選択する

① CD/DVDドライブのアイコンを右クリック

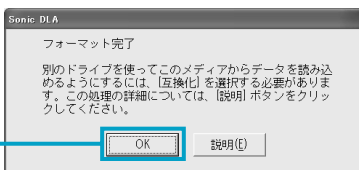
② ［フォーマット］をクリック

4 フォーマットを実行する

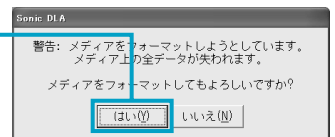
① ボリュームラベル名を入力
ここでは「dynabook」と入力します。

③［開始］をクリック

②［完全］をクリック

「DLA」で初めてフォーマットするCD/DVDの場合は、［完全］を、2回目以降の場合は［クイック（消去）］を選択します。

5 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

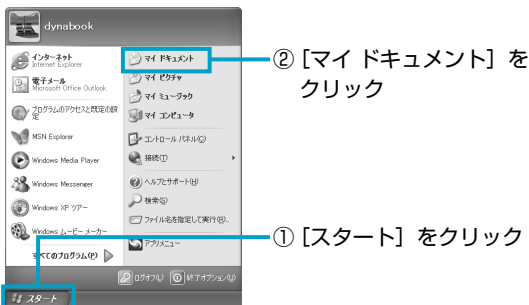
6 ［OK］ボタンをクリックする

フォーマットが完了しました。

フォーマットの進行状況が表示されます。

データをCD／DVDに書き込む

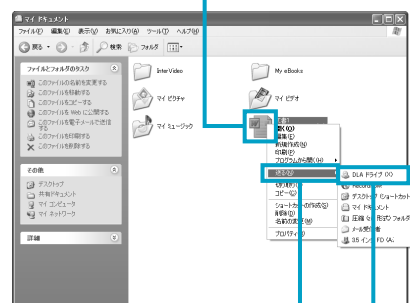
「DLA」でフォーマットしたCD/DVDにデータを書き込む方法を説明します。「DLA」では1枚のCD/DVDに繰り返し書き込むことができます。あらかじめ書き込みたいデータを準備し、ドライブにCD/DVDをセットしておいてください。

1 書き込みたいデータを表示する

ここでは、［マイドキュメント］に保存している「文書1」を表示します。

2 データをドライブにコピーする

②［マイ ドキュメント］をクリック

①［スタート］をクリック

①［文書1］を右クリック

②［送る］をクリック

③［DLAドライブ］をクリック

データが書き込まれます。

・データをCD/DVDのドライブにドラッグアンドドロップして、CD/DVDに書き込むこともできます。

「DLA」の問い合わせは、ソニック・サポートセンターへお願いいたします。詳細は、P17を確認してください。

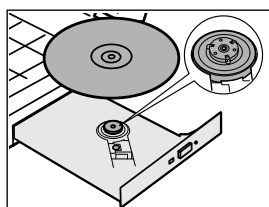
DVDの映画や映像を観る

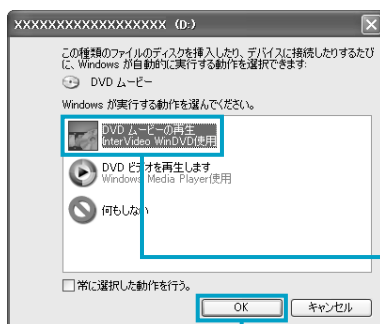
InterVideo WinDVD™ 5 for TOSHIBA
（インタービデオ ウィンディーブイディー フォー トウシバ）

DVDの映画や映像を観るには、「InterVideo WinDVD」を使います。本製品では、DVD-Videoの再生ができます。

DVDを観る

ここでは、DVDの映像を観る方法を説明します。

1 ドライブにDVDをセットする

2 起動するアプリケーションを選択する

① [DVDムービーの再生 InterVideo WinDVD使用] をクリック

② [OK] ボタンをクリック

「InterVideo WinDVD」が起動しなかった場合は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideo WinDVD] → [InterVideo WinDVD] をクリックしてください。

お願い　DVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- DVD-Videoの再生はRegion（リージョン）コード「2」、「ALL」のものをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビの同時表示）の設定では、外部ディスプレイまたはテレビに表示するための設定が必要です。
  本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイにClone表示をしているときDVD-Videoを再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示するか、拡張表示に設定してください。

参照 表示装置の切り替え『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

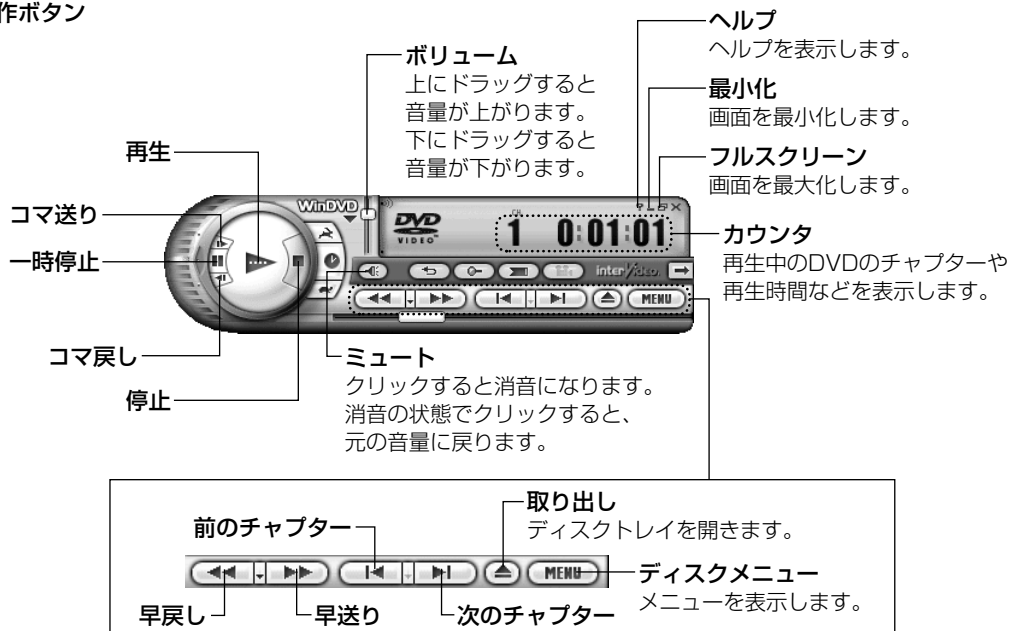
その他の注意については、「Readme」に記載しています。
「Readme」の起動は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideoWinDVD] → [readme1st.txt] をクリックしてください。

3 「InterVideo WinDVD」が起動する

メインウィンドウ

メインウィンドウとWinDVDコントロールパネルが表示されるので、操作ボタンを使ってDVDの映像（DVD-Video）を観ましょう。

- 本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。
- リモコンが同梱されているモデルでは、リモコンを使って再生操作を行うことができます。詳細は『応用にチャレンジ』を確認してください。

WinDVDコントロールパネル

操作ボタン

再生するDVD-Videoによっては、表示が一部異なる場合があります。また、操作ボタンの一部は、機能対応している場合のみ表示できます。

【「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル ：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

デジタルカメラの写真を編集する

FinePixViewer Lite for TOSHIBA（ファイン ピックス ビューワ ライト フォー トウシバ）

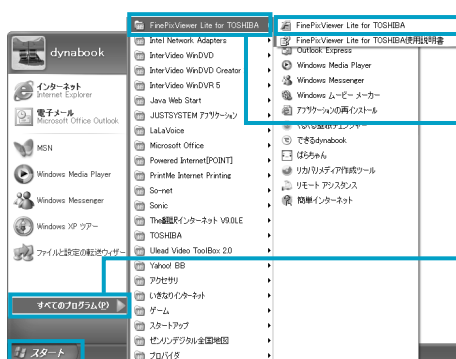
デジタルカメラで撮った写真などの画像を編集するには、「FinePixViewer Lite」を使います。文字を書き込むなどの編集操作を簡単に行うことができます。

写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真などの画像をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集をする場合について説明します。デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

1 起動する

① ［スタート］をクリック

② ［すべてのプログラム］をクリック

③ ［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

④ ［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

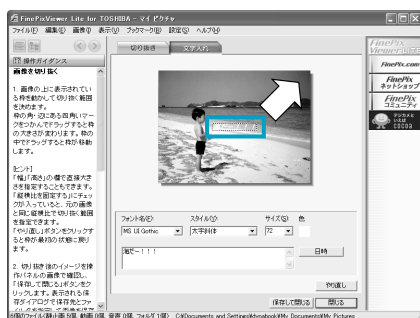
【初めて起動したとき】

［ソフトウェア使用許諾契約］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意します］ボタンをクリックしてください。

5 文字を入力する

① クリックして文字を入力

② フォント、色などを指定

6 文字を囲んでいる枠をドラッグして、位置を調整する

7 編集が完了する

画像に文字が追加されました。

メモ

「FinePixViewer Lite」では、次のような画像の編集もできます。

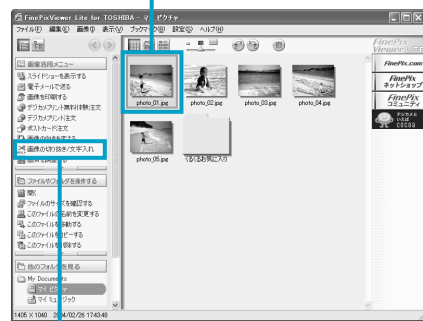
- 画像の切り抜き ：画像を切り抜きます。
- 画像の向きを変える ：画像の向きを変更できます。
- 画質を調整する ：明るさや色合いなどを調整したり、セピア／白黒、くっきり／ぼかしの加工ができます。
- 赤目を修正する ：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。
- 画像サイズを変更する ：画像のサイズを変更できます。

2 編集したい画像を表示する

初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ピクチャ］に保存されている画像を表示します。

他のフォルダに保存している画像を表示したい場合は、［他のフォルダを見る］欄で場所を指定してください。

3 画像を編集する

ここでは、画像に文字を追加します。

① 編集したい画像をクリック

② ［画像の切り抜き／文字入れ］をクリック

画面中央の作業領域に、画像が表示されます。

4 ［文字入れ］タブをクリックする

メモ

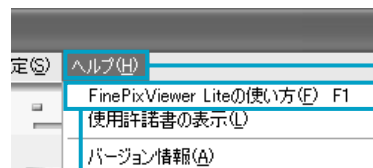
「FinePixViewer Lite」では、他にも次のようなことができます。

- デジタルカメラの画像をパソコンに取り込む
- 画像を印刷する
- スライドショーを行う
- インターネットを使ってデジカメプリントを注文する

など

詳細は、ヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

「FinePixViewer Lite」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［FinePixViewer Liteの使い方］をクリック

【「FinePixViewer Lite」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間　　：9:00～19:00（年中無休）
　システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

写真を見やすく整理する

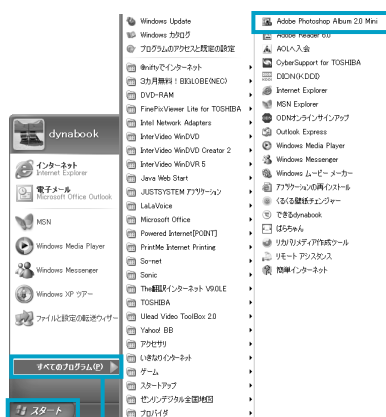
Adobe Photoshop Album 2.0 Mini

アドビ　フォトショップ　アルバム　ミニ

デジタルカメラで撮った写真などの画像を整理するには、「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」を使います。画像を画面上に好きな順番に並べ替えたり、パソコンに保存されている画像を検索することもできます。

写真を整理する

ここでは、写真などの画像をパソコンに取り込んで、画面上に並べて表示する方法について説明します。

1 起動する

③［Adobe Photoshop Album 2.0 Mini］をクリック

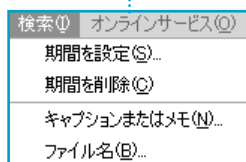
②［すべてのプログラム］をクリック

①［スタート］をクリック

【初めて起動したとき】
［Adobeエンドユーザ使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。続けて、［製品の登録］画面が表示されます。ユーザ情報を登録してください。ユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。

5 画像を整理する

画像を好きな順番に並べ替えることができます。

検索(I)　オンラインサービス(O)
期間を設定(S)...
期間を削除(C)
キャプションまたはメモ(N)...
ファイル名(B)...

期間やファイル名を指定して、画像を検索できます。

ここでは、期間を設定して、画像を検索してみましょう。メニューバーの［検索］→［期間を設定］をクリックすると、［期間を設定］画面が表示されます。検索対象の開始日と終了日を指定してください。

指定した期間に当てはまる画像のみが表示されました。

「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」では、次のような画像の補正もできます。

- ワンタッチ補正：画像をシャープにしたり、くすみを取ったりします。
- 切り抜き：画像の一部を切り抜きます。
- 赤目修正：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。

「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」が起動します。
『クイックガイド』が表示されます。ここでは ✕ をクリックして画面を閉じてください。

2 デジタルカメラをパソコンに接続する、または画像が保存されている記憶メディアをパソコンにセットする

パソコンとデジタルカメラの接続方法は、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。記憶メディア（SDメモリカードなど）をセットする方法は、『応用にチャレンジ』を確認してください。

3 画像をパソコンに取り込む

4 保存先を指定する

「サムネールエリアには、新しく取り込んだアイテムだけが表示されます。」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。

画像がパソコンに取り込まれました。

サムネールエリア
取り込んだ画像を自動整理して順番に並べて表示します。

タイムグラフ
バーを動かすだけで、撮影した日付ごとに画像を探すことができます。

【「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」の問い合わせ先】

Adobe Photoshop Album support
サポート情報については、下記ホームページをご覧ください。
　ホームページ ：http://www.adobe.co.jp/support/products/photoshopalbum.html
●カタログのご請求、製品ご購入前の製品情報、製品購入に関するお問い合わせ
　（製品サポート窓口ではございません。「購入する」ための情報提供窓口です ）
カスタマーインフォメーションセンター
　TEL　　　：03-5350-0407
　受付時間　：9:30 ～17:30（土曜、日曜、祝日、指定休日を除く）
　＊操作に関する内容は東芝PCダイヤルへお問い合わせください。

テレビを見る／番組を録画する

InterVideo WinDVR™ 5 for TOSHIBA
（インタービデオ ウィンディーブイアール フォー トウシバ）

＊TVチューナ内蔵モデルのみ
パソコンでテレビを見たり、番組を録画するには「WinDVR」を使います。ビデオデッキやその他の映像機器の映像を見ることもできます。

パソコンでテレビを見る

ここでは、パソコンでテレビを見る方法について説明します。

1 テレビアンテナを、アンテナF型変換ケーブルを使ってパソコンに接続する

接続方法と使用上の注意については、『応用にチャレンジ』を確認してください。

メモ

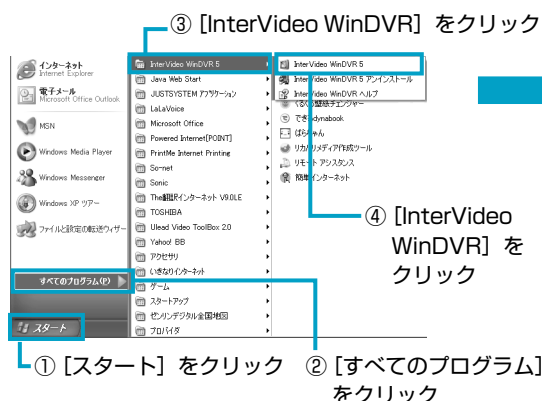
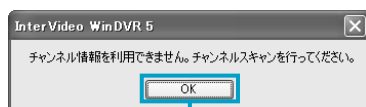
- 「WinDVR」についての詳細は、「InterVideo WinDVR」のヘルプを確認してください。
- 「WinDVR」を使って録画した番組を、「WinDVD Creator」で編集することもできます。

2 起動する

③［InterVideo WinDVR］をクリック

④［InterVideo WinDVR］をクリック

①［スタート］をクリック

②［すべてのプログラム］をクリック

3 メッセージを確認する

①［OK］ボタンをクリック

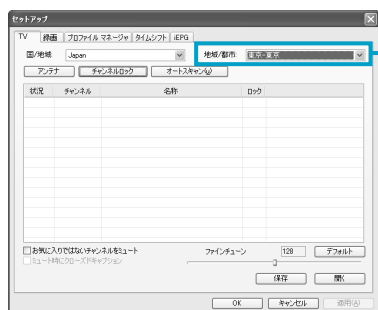
【「WinDVR」の起動（2回目以降）について】
2回目以降の起動時では、手順3の画面は表示されず、直接テレビ画面が表示されます。チャンネル設定済みの場合は、手順4～7を行う必要はありません。そのままテレビを見ることができます。チャンネル未設定の場合には、手順4～7を行ってください。手順4の画面を表示するには、P32【iEPGサイトを選択する】の手順①～③を行います。

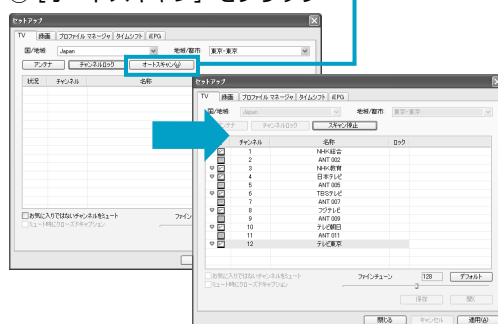
お願い　「WinDVR」の使用にあたって

- 「WinDVR」で録画されたテレビなどは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 「WinDVR」動作中は画面解像度、色数の設定変更を行わないでください。
- パソコンの電源がオフの場合、予約録画を実行できません。
- パソコンがログオフ状態の場合は、予約録画を実行できません。
- 予約録画を設定する場合は、必ず録画可能時間を確認してください。
- パソコン本体は、必ずACアダプタに電源を接続してご使用ください。
  バッテリで使用すると、バッテリの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 著作権保護されているコンテンツは録画、および視聴することができません。
- ビデオデッキやその他の映像機器から映像を取り込んだとき、画面上部、または下部にノイズがのることがあります。これは「垂直帰線区間」と呼ばれる領域を表示しているために起きている現象で、異常ではありません。
- テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像を録画・取り込みし、編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator」で編集してください。「WinDVR」と「WinDVD Creator」の使いかたについては、「InterVideo WinDVR」のヘルプと「InterVideo WinDVD Creator」のヘルプをご覧ください。

4 TVを見る国または地域を選択する

ここでは「東京」を選択します。

① [地域/都市] で [東京-東京] を選択

5 チャンネルを設定する

① [オートスキャン] をクリック

受信可能なチャンネルを自動的に設定します。

6 表示しないチャンネルのチェックをはずす

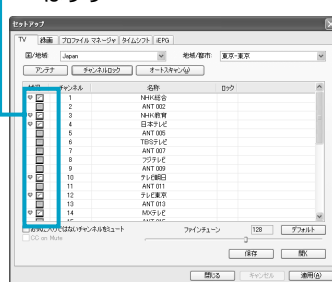
① 見ないチャンネルのチェックをはずす

7 録画する番組の保存場所を指定する

初期状態では、[マイ ドキュメント] の [マイ ビデオ] に保存されるように設定されています。

① [録画] タブをクリック

② 保存場所を指定

③ [閉じる] ボタンをクリック

テレビ番組が表示されました。

【画面のサイズを変更する】

表示されている映像にあわせて、画面を次のサイズに変更することができます。

通常の画面の場合　：[4x3]
ワイド画面の場合　：[16x9]

① 画面を右クリック

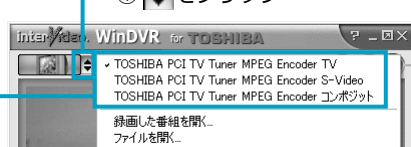
② [モニタータイプ] をクリック

③ [4×3] または [16×9] をクリック

【映像機器の映像を見る】

モデルによっては、ビデオデッキやその他の映像機器をパソコンに接続して、映像を見ることもできます。接続している映像コネクタにより、次の項目を選択してください。

① をクリック

② ケーブルを接続している端子の項目を選択
パソコン本体に接続しているケーブルに合わせて、[S-Video] または [コンポジット] をクリックしてください。
[TV] をクリックすると、テレビ番組に戻ります。

映像機器の詳しい接続方法は、『応用にチャレンジ』や『映像機器の説明書』を確認してください。

テレビ番組を録画する

「WinDVR」でテレビ番組を録画する方法を説明します。

1 「WinDVR」を起動する

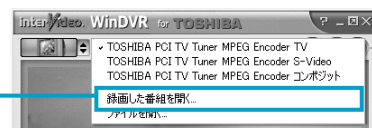
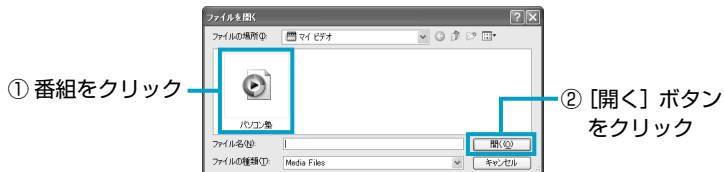
2 チャンネルを変える

3 ［録画］ボタンをクリックする

録画した番組を再生する

ここでは、録画したテレビ番組を再生する方法を説明します。

1 ［ソース］ボタンをクリックする

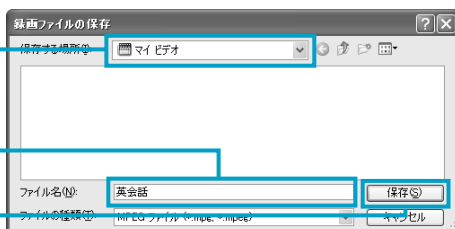
2 ［録画した番組を開く］をクリックする

3 再生する番組を選択する

再生できました。

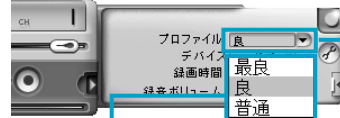
メモ

- ビデオデッキやその他の映像機器で録画した番組をパソコンに取り込み、「WinDVR」で再生するときの手順も同様です。手順3で、録画した番組が表示されます。
- リモコンが同梱されているモデルでは、リモコンを使って再生操作やチャンネル変更が行えます。詳細は『応用にチャレンジ』を確認してください。

録画中はほかの番組を視聴することはできません。

4 番組が終わったら、［停止］ボタンをクリックする

5 ファイル名を入力する

【録画する前に画質を設定する】

「WinDVR」では、サブパネルから録画するときの画質を選択することができます。

【映像ファイルの画質と収録できる時間】

「WinDVR」でハードディスクに録画した映像ファイルを、「WinDVD Creator」を使ってDVDにすることができます。ハードディスクは長時間、映像ファイルを録画することができますが、ハードディスクやDVDは容量が決まっており、容量を超えた長さ（時間の）映像を録画することはできません。
ハードディスクに保存した映像ファイルをDVDにする場合、映像ファイルの大きさがDVDの容量を超えてしまうと、映像が途中で途切れたDVDが作成されます。P40「テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする」で、DVD2枚に分けるなどの作業を行ってください。

「WinDVR」では録画する前に映像の画質をサブパネルの「プロファイル」で選択できます。
「プロファイル」はビットレートと解像度などの組み合わせです。それぞれの値が大きいほど、録画した映像は高画質になります。また、ファイルのサイズも大きくなり、DVD1枚あたりに納められる時間が少なくなります。購入時の「プロファイル」は「良（Real-time Better)」です。

プロファイル	ビットレート	解像度	品質	DVD1枚（4.7GB）あたりの収録可能な時間
最良（Real-time Best）	8.0Mbps	720×480	高	約1時間5分
良（Real-time Better）	4.0Mbps	720×480	↕	約2時間10分
普通（Real-time Good）	2.0Mbps	720×480	低	約4時間10分

＊「WinDVR」で選択できる主なプロファイルによる録画目安時間です。
＊ DVDに収録可能な時間は、「WinDVD Creator」の［ムービー作成］でフォーマットを［DVD（高品質)］にした場合の値です。
［DVD（標準)］の場合、「WinDVR」のプロファイルでは、ビットレートが4Mbpsに変換され、収録されます。
P39「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順14を確認してください。

番組を予約録画する

ここでは、iEPGサイトを利用して、テレビ番組を予約録画する方法を説明します。あらかじめ、インターネットに接続できる準備をしておいてください。

1 「WinDVR」を起動する

2 ［パネル］ボタンをクリックする

3 ［TV コントロール］をクリックする

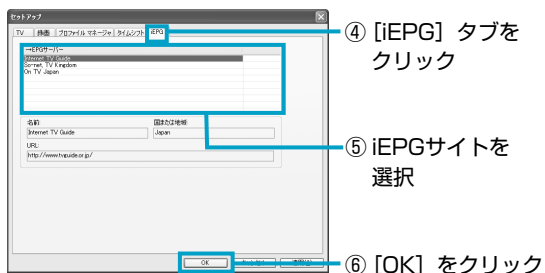
4 ［EPG］をクリックする

画面にiEPGが表示されます。

9 予約したい番組の設定がすべて終わったら、テレビ画面に戻る

テレビ画面に戻りました。

【iEPGサイトを選択する】

テレビ番組を予約するときは、iEPGサイトを利用しましょう。iEPGとは、インターネットを使用したテレビ番組録画予約方式のことで、ブラウザから番組を指定して録画予約することができます。iEPGサイトは3つのサイトから選択することができます。本書では、ONTV JAPANのサイトを使って説明します。

5 番組表を表示する

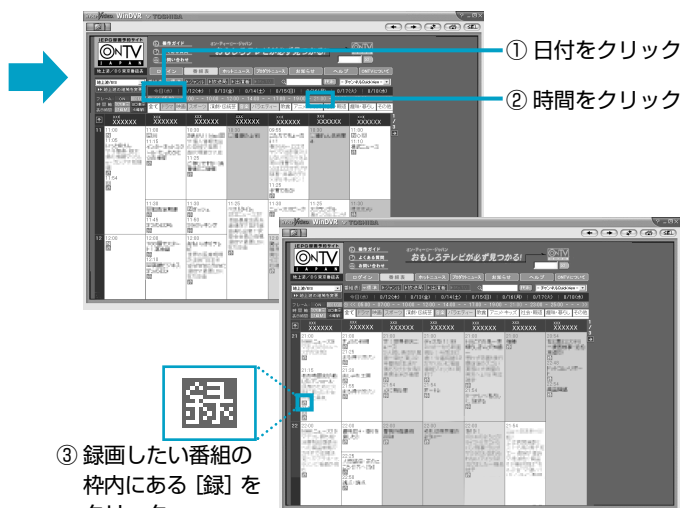
① をクリック
画面が大きくなります。

② ［番組表］をクリック

6 予約する日時を指定し、番組を選択する

ここでは、8月11日（今日）の21:00を指定します。

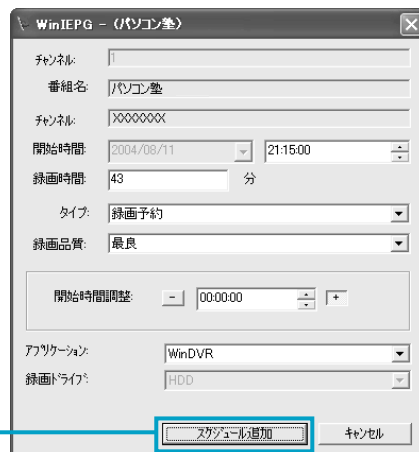
① 日付をクリック

② 時間をクリック

③ 録画したい番組の枠内にある［録］をクリック

または録画したい番組名をクリックし、表示された番組情報詳細ページで、［iEPG録画］ボタンをクリックしてください。

7 ［スケジュール追加］をクリックする

8 録画予約を続ける

引き続き、他の番組の録画を予約したいときは手順6～7をくり返してください。

メモ

テレビ番組の予約録画はパソコンが次の状態のときに行われます。

・ 電源が入っているとき
・ スタンバイ機能を実行しているとき
・ 休止状態のとき

このためパソコンの電源を切ったり、ログオフ状態にしないでください。

【「WinDVR」の問い合わせ先】

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポートは、ご購入後1年間となります。

TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　：月～金　9:30～17:00
（12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）

映像を編集してDVDに残す

インタービデオ ウィンディーブイディー クリエイター ツー プラチナム フォー トウシバ
InterVideo WinDVD™ Creator 2 Platinum for TOSHIBA

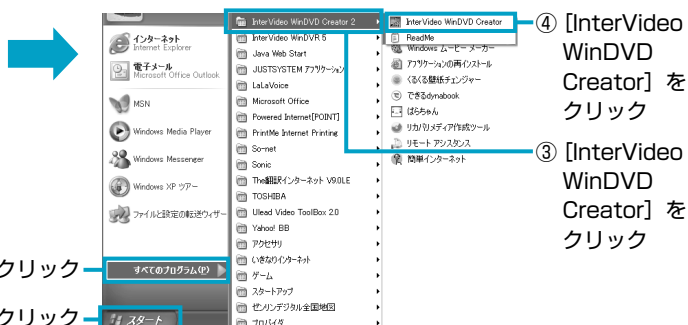
映像を編集してDVDに残すには、「WinDVD Creator」を使います。録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。
＊DVDの作成は、DVDスーパーマルチドライブモデル、DVDマルチドライブモデル、DVD-R/-RWドライブモデルのみ

録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする

ここでは、録画したテレビ番組や、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイル（テレビ番組やビデオ映像のファイルなど）を用意する

あらかじめ「WinDVR」を使って映像ファイルを用意しておきます。操作についての詳細は、「InterVideo WinDVRのヘルプ」を確認してください。

2 起動する

お願い　テレビ番組の取り込みについて

- テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像をハードディスクに取り込んで編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator」で編集してください。「WinDVR」と「WinDVD Creator」の詳細については「InterVideo WinDVR」のヘルプと「InterVideo WinDVD Creator」のヘルプを確認してください。

お願い　「WinDVD Creator」の使用にあたって

- 「WinDVD Creator」はコンピュータ管理者のユーザで使用してください。
- 本製品にインストールされている「Windows Movie Maker 2」やその他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「WinDVD Creator」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- バッテリ駆動で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリ消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源に接続してご使用ください。

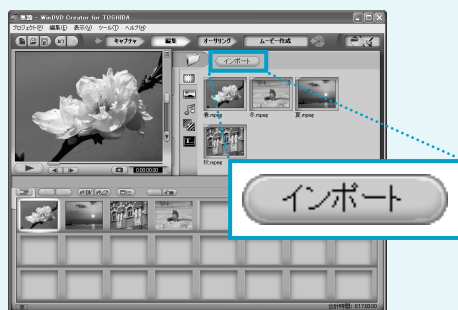
メモ

プロジェクトモードでのDVDの書き込みにおいて、サポートしているメディアは、次のとおりです。
・DVDスーパーマルチドライブモデル：DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R
・DVDマルチドライブモデル：DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R
・DVD-R/-RWドライブモデル：DVD-RW、DVD-R
これらのメディアは、DVD-Videoフォーマットにて書き込むことができます。

「WinDVR」を使って用意した映像ファイルは、P29「パソコンでテレビを見る」の手順7で指定した場所に保存されています。初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ビデオ］フォルダに保存するように設定されています。

3 ［作成済みのビデオファイルをCD/DVDに作成］のボタンをクリックする

メモ

映像ファイルの取り込みは、編集を行っている最中にも行えます。

① ［インポート］をクリック

② ファイルを選択（本ページ手順4同様）

4 使用するファイルを選択する

① ファイルの保存場所を指定

② ファイルを選択
複数選択したいときは、CTRLキーを押したまま、ファイルをクリックします。

③［開く］ボタンをクリック

＊再生時間が24時間以上ある映像ファイルを取り込むことはできません。

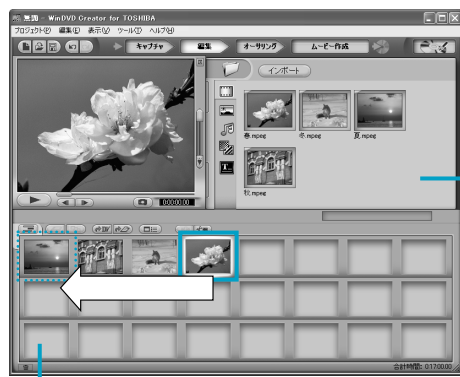
5 映像ファイルが取り込まれる

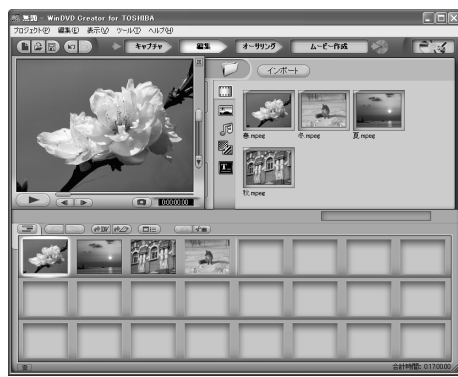
映像ファイルが取り込まれ、編集画面が表示されました。
以降、取り込まれた映像のことを「クリップ」と呼びます。

次は、編集を行います。

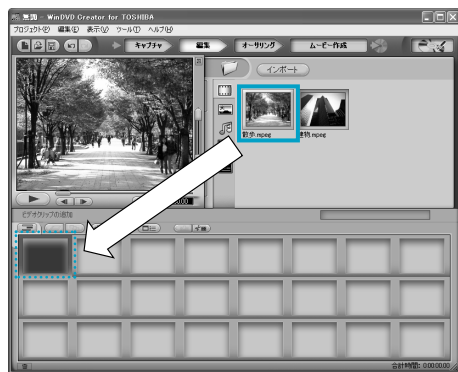
次のページへ

6 クリップを並び替える

ストーリーボードに表示されたクリップをドラッグアンドドロップして、書き込みたい順番に並び替えます。

メディアライブラリー
取り込んだ映像を表示します。

ストーリーボード
ここに並べた順に、DVDに書き込まれます。

クリップが並び替えられました。

編集は、取り込んだ映像の録画時間により、時間がかかることがあります。

P42「デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」で、デジタルビデオカメラから直接映像を取り込んだ場合は、クリップがストーリーボードに表示されていません。メディアライブラリーに表示されているクリップを、ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

① クリップをストーリーボードにドラッグアンドドロップする

クリップがストーリーボードに並べられました。必要なクリップを順次ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

編集やDVDメニューを作る操作では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。
・ 編集の画面では映像（動画）だけでなく、画像（静止画）や音楽を追加することもできます。また、タイトルやトランジション エフェクトをクリップにかけることもできます。
・ オーサリングの画面では、DVDメニューの背景画像を替えたり、文字の入力やボタンを変更することができます。
これらについての詳細は、「InterVideo WinDVD Creator」のヘルプを確認してください。

7 ［オーサリング］をクリックする

次にオーサリングを行います。
オーサリングとは、DVDメニュー（タイトル画面）を作成する機能です。
ここではDVDメニューを付けてみましょう。

プレビュー画面
ここに表示されている画像がDVDメニューの画面になります。

オーサリングの画面に切り替わりました。
ここでは、あらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

8 ［オーサリングプレビュー］ボタンをクリックする

DVDメニューの動作を確認することができます。

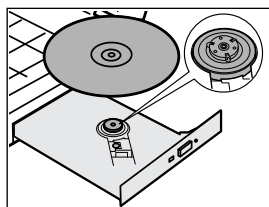
9 プレビュー画面で動作を確認する

作ったDVDメニューを確認できる画面に切り替わりました。確認の操作は、画面右のリモコンを使います。
この画面を閉じるときは、ボタンをクリックしてください。

これで、切り出した映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。

次はDVDに書き込みます
＊DVDに書き込むことができるのは、DVDスーパーマルチドライブモデル、DVDマルチドライブモデル、DVD-R/-RWドライブモデルのみです。
＊ハードディスクに書き出すこともできます。

次のページへ

10 ドライブにDVDをセットする

ここでは、DVDディスクに直接書き込む方法を説明します。ハードディスクに書き出す場合は、手順10からの作業を行う必要はありません。

11 ［ムービー作成］をクリックする

お願い DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

【DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって】

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源に接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

  参照 省電力の設定について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』
- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・スクリーンセーバ　・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・ウイルスチェックソフト　・モデムなどの通信アプリケーション　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、スマートメディア、光デジタル対応機器、ビデオ入力コネクタに接続する機器
- パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。

【作成したDVDについて】

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

【映像データをDVDに書き込む前に】

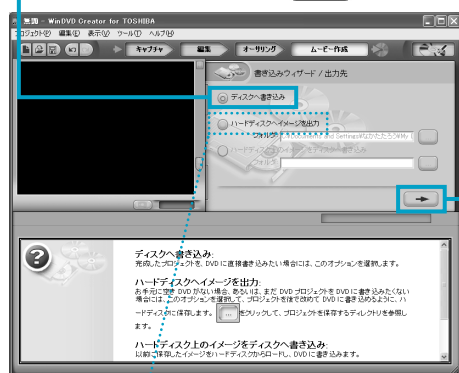
- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。
  守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「WinDVD Creator」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

【「WinDVD Creator」のムービー作成について】

- ムービー作成では－VRフォーマット、＋VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

12 出力先を設定する

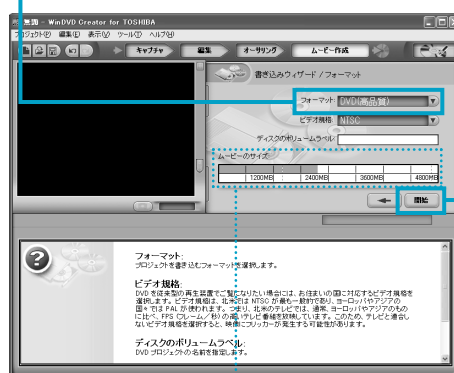
① ［ディスクへ書き込み］をチェックする

② [→] をクリック

ハードディスクに書き出す場合は、［ハードディスクへイメージを出力］をチェックし、［フォルダ］欄で書き出す場所を指定してください。

13 [→] をクリックする

14 フォーマット（画質）を選択し、［開始］ボタンをクリックする

① フォーマットを選択
通常は［DVD（高品質）］を選択してください。

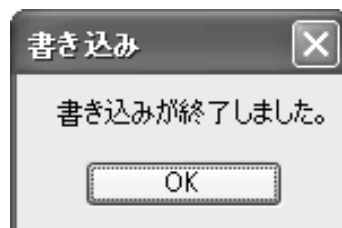
② ［開始］ボタンをクリック

［ムービーのサイズ］のメーターがDVDの容量を超えている場合は、P40～P41「テレビ番組を2つにわけて別々のDVDにする」を参考にして、映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

＊ メーターはあくまで目安です。メーターを超えていない場合でも、DVDの容量を超えて「オーサリングエラー」が表示されることがあります。

すでにデータが書き込まれているDVD-RAM、DVD-RW、DVD+RWをドライブにセットした場合は、次のようなメッセージが表示されます。

データを削除して、DVDに書き込んでもよい場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。

15 映像の書き込みが始まる

16 書き込みが終了し、［OK］ボタンをクリックする

書き込みが終了するとドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする

「プロファイル」の初期設定で録画した映像ファイルはDVD1枚あたり、[DVD HQ]（WinDVD Creator）で1時間弱、[良（Real-time Better)]（WinDVR）で2時間弱、収録できます。長い時間録画したテレビ番組や映像ファイルがDVDの容量を超えていると、1枚のDVDに収まりません。2枚のDVDに収まるように映像ファイルを切り分けます。
ここではWinDVRの「プロファイル」の初期設定で録画した4時間弱の映像ファイルを半分に分け、2枚のDVDにする操作を説明します。

＊ DVD1枚とは4.7GB1層のDVDメディアを指しています。DVD-RAMで両面あるメディアの場合は、片面ずつ映像を書き込むことができます。
＊ 4.7GBのDVDメディアに書き込める映像データは4.0GB（DVD+R DLメディア（8.5GB）の場合、7.0GB）です。

1 ビデオファイル（TV番組やビデオ映像のファイルなど）を取り込む

P34〜P35「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順1〜4と同じ操作です。

映像ファイルが取り込まれました。

4 後半（2つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す

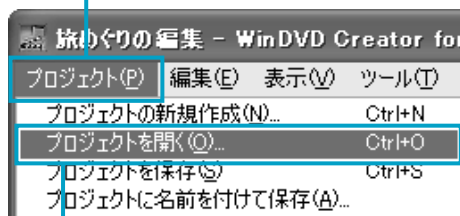
③［いいえ］をクリック

④［プロジェクト］をクリック

⑤［プロジェクトを開く］をクリック

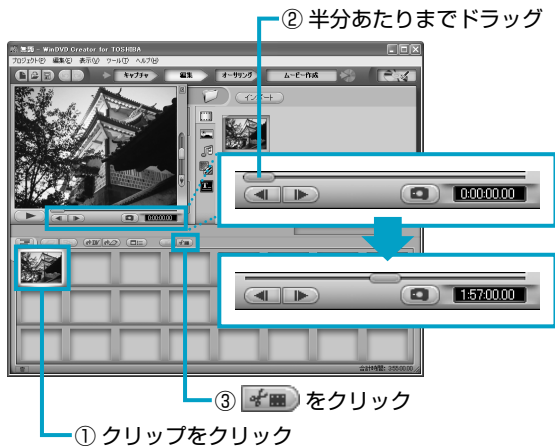
クリップの前半部分が残ります。これをDVD（1枚目）にします。P37〜P39「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順7〜手順16と同じ操作です。

映像ファイルの後半部分をDVDにします。

5 手順3で保存したファイルを開く

①［プロジェクト］をクリック

②［プロジェクトの新規作成］をクリック

2 半分の長さでビデオファイルを分ける

② 半分あたりまでドラッグ

③ をクリック

① クリップをクリック

ストーリーボード上のクリップをダブルクリックすると、クリップの時間を調整するトリミングメニュー画面が表示されます。

クリップが2つに分かれました。

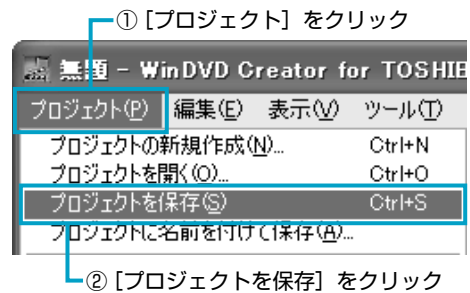
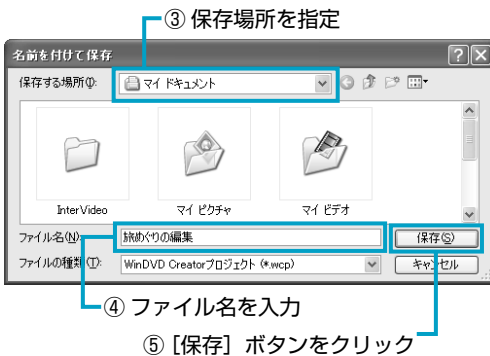
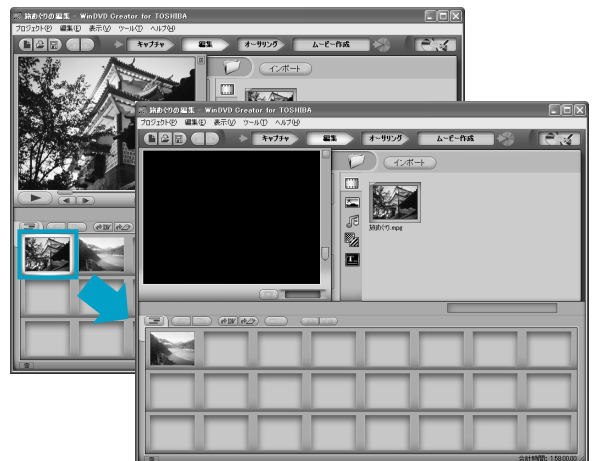
3 ファイルに保存する

① ［プロジェクト］をクリック

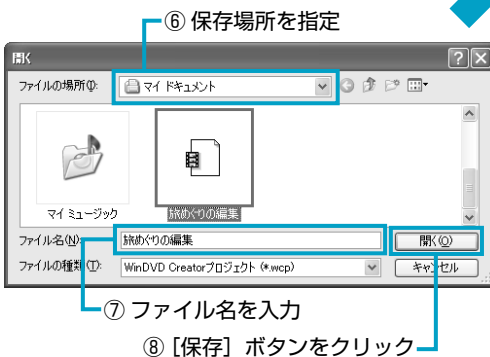
② ［プロジェクトを保存］をクリック

③ 保存場所を指定

④ ファイル名を入力

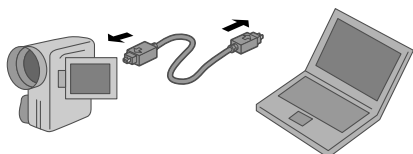
⑤ ［保存］ボタンをクリック

6 前半（1つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す

クリップの後半部分が残ります。これをDVD（2枚目）にします。P37～P39「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順7～手順16と同じ操作です。

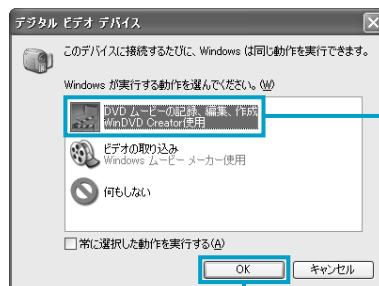
⑥ 保存場所を指定

⑦ ファイル名を入力

⑧ ［保存］ボタンをクリック

デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVDにする方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる

デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

2 動作を指定する

① [DVDムービーの記録、編集、作成 WinDVD Creator使用] をクリック

② [OK] ボタンをクリック

4 別のカット（映像）を切り出したい場合は、手順3をくり返す

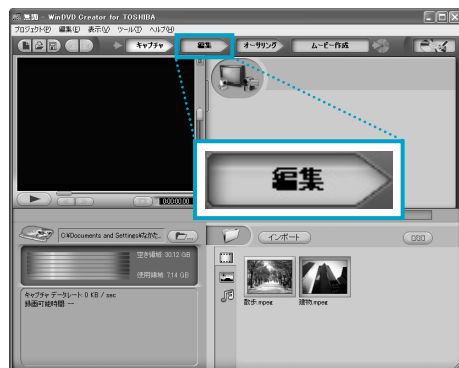
ここでは、全部で2つのカットを取り込みます。

複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順3をくり返してください。

 をクリックすると、あらかじめパソコンに保存されている映像ファイルを取り込むことができます。詳細は、P34「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」を確認してください。

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

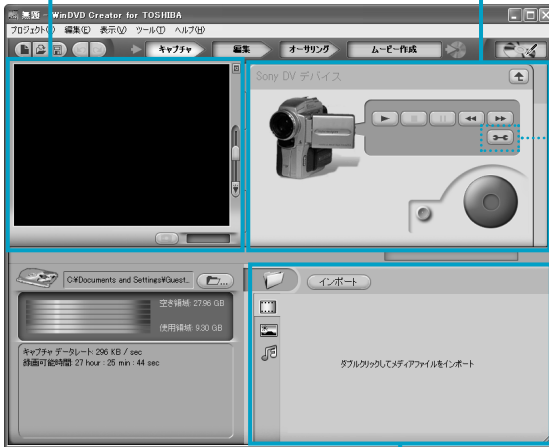
デジタルビデオカメラの電源の切りかたと接続ケーブルの取りはずしかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

6 [編集] をクリックする

編集の画面に切り替わります。
以降の操作は、P36「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順6に進んでください。

3 編集したい部分を切り出して取り込む

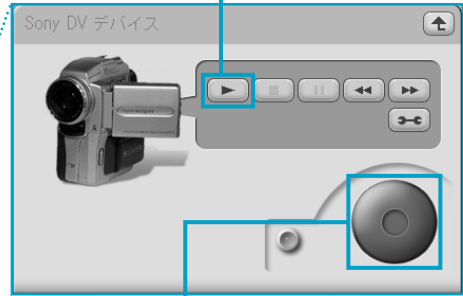
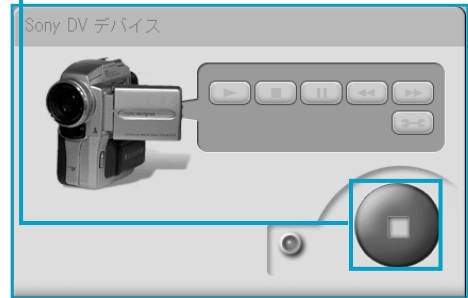
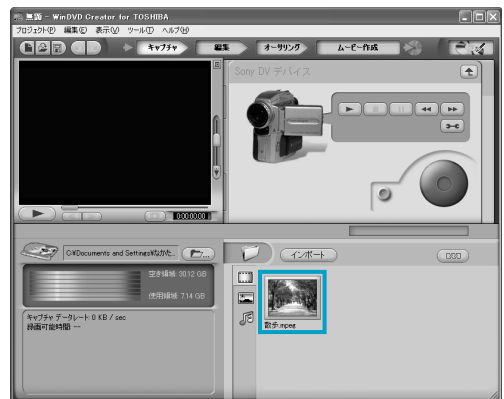
「WinDVD Creator」が起動します。

コントロール画面
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

プレビューウィンドウ
再生中の映像を表示します。

メディアライブラリー
編集に使うファイルを管理します。取り込んだ映像は、ここに表示されます。

 ボタンをクリックすると映像ファイルの録画品質を設定する画面が表示されます。
フォーマットとプロファイルで選択してください。

フォーマット	プロファイル
MPEG	DVD HQ（品質高）
	DVD GQ（品質良）
	DVD SP（標準再生）
	DVD LP（長時間再生）
	DVD EP（拡張再生）
AVI DV	DV AVI

① ［再生］ボタンをクリック

② DVDに残したい映像になったら［録画］ボタンをクリック

③ 取り込みが終わりまでできたら、［停止］ボタンをクリック

ビデオライブラリーに映像が表示され、映像が取り込まれました。

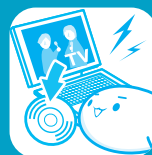
【「WinDVD Creator」の問い合わせ先】

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポートは、ご購入後1年間となります。

TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　：月～金　9:30～17:00
（12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）

テレビ番組をDVDに直接録画する

イ ン タ ー ビ デ オ ウィンディーブイディー クリエイター ツー プ ラ チ ナ ム フォー ト ウ シ バ
InterVideo WinDVD™ Creator 2 Platinum for TOSHIBA

＊テレビ番組、ビデオデッキやその他の映像機器の映像の直接録画は、TVチューナ内蔵モデルのみ
＊デジタルビデオカメラの映像の直接録画は、DVDスーパーマルチドライブモデル、DVDマルチドライブモデル、DVD-R/-RWドライブモデルのみ

「WinDVD Creator」では、パソコンでテレビを見ながら、番組をDVDに直接録画（DVDダイレクトレコーディング）することができます。デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器の映像を直接ダビングすることもできます。この方法を使うと、パソコンのハードディスクに保存してからDVDに書き込むという手間が必要ありません。

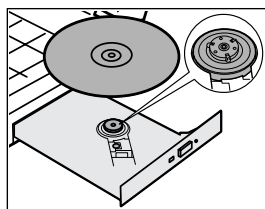
テレビ番組をDVDに直接録画（DVDダイレクトレコーディング）する

ここでは、パソコンでテレビを見ながら、番組をDVDに直接録画する方法について説明します。

1 テレビアンテナを、アンテナF型変換ケーブルを使ってパソコンに接続する

接続方法と使用上の注意については、『応用にチャレンジ』を確認してください。

テレビだけでなく、デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器をパソコンに接続して、映像をDVDに直接ダビングすることもできます。
手順1で機器をパソコンに接続し、手順6で映像を再生しながら録画してください。
機器の接続方法については、『ビデオデッキなどに付属の説明書』を確認してください。

2 ドライブにDVDをセットする

メモ

次のメディアをサポートしています。
- DVDスーパーマルチドライブモデル
　：DVD-RAM、DVD-RW
- DVDマルチドライブモデル：DVD-RAM、DVD-RW
- DVD-R/-RWドライブモデル：DVD-RW

お願い　DVDへの直接録画について

＊ DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。P34「映像を編集してDVDに残す-「WinDVD Creator」の使用にあたって」、P38「映像を編集してDVDに残す-DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」と合わせてご覧ください。

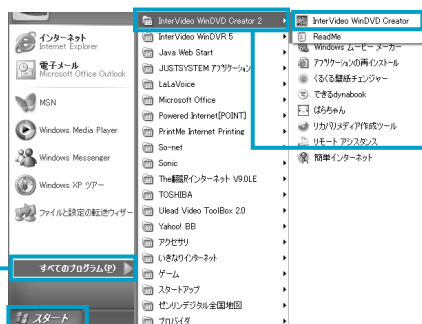
● 「QosmioPlayer」にも録画機能がありますが、DVDに直接録画することはできません。
● 直接録画できる時間は、録画品質によって異なります。品質は、手順6で［プロパティ］ボタンをクリックし、［録画］タブの［録画プロファイル］で選択してください。それぞれの品質で、4.7GBのDVDに録画できる時間の目安は次のとおりです。
- DVD HQ（品質高）　：最大約60分
- DVD GQ（品質良）　：最大約90分
- DVD SP（標準再生）：最大約120分
- DVD LP（長時間再生）：最大約180分
- DVD EP（拡張再生）：最大約240分

ディスクがいっぱいになると録画は停止します。ディスク容量を超えるような長時間録画を行う場合は、P28「テレビを見る／番組を録画する」を確認して「WinDVR」でハードディスクに録画してください。
● フォーマットが必要なDVDをセットすると、手順4の後でメッセージが表示されますので、フォーマットを行ってください。「DLA」でフォーマットしたDVDは形式が異なりますので、改めてフォーマットが必要です。フォーマットを行うと、そのDVDに保存されていた情報はすべて消去されます。
● DVDへの直接録画では、DVD-RAMにVRフォーマット、DVD-RWにDVD-Videoフォーマットで書き込みできます。DVD-RWに直接録画すると、「WinDVD Creator」（ディスクマネージャ）の終了時に、ファイナライズについてのメッセージが表示されます。DVDプレーヤなどで再生したい場合は、［はい］ボタンをクリックしてファイナライズを行ってください。

3 起動する

① [スタート]をクリック

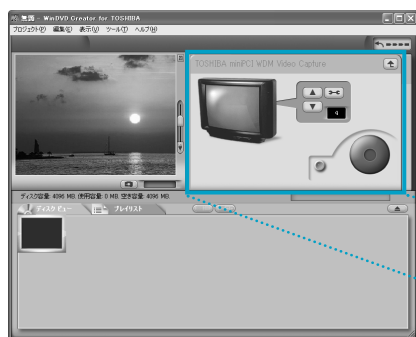
② [すべてのプログラム]をクリック

③ [InterVideo WinDVD Creator]をクリック

④ [InterVideo WinDVD Creator]をクリック

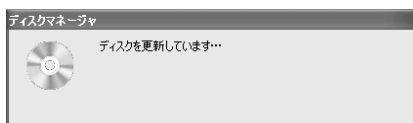
4 [DVDディスクに直接ビデオをキャプチャする]ボタンをクリックする

5 [キャプチャ]ボタンをクリックする

6 番組を見ながら、録画する

テレビ番組が表示されます。
映像機器の一覧が表示された場合は、テレビのアイコンを選択してください。

チャンネルの選択や録画の設定などはここで行います。
ビデオデッキやその他の映像機器の映像を表示するには、[プロパティ]ボタン（）をクリックし、[デバイスコントロール]タブの[ビデオソース]を変更してください。

① 録画したいシーンで、[録画]ボタンをクリック

② 停止したいシーンで、[停止]ボタンをクリック

メッセージが表示されます。
しばらくお待ちください。

ディスクビューに映像が表示され、DVDに直接録画できました。

メモ

- 「WinDVD Creator」の詳細については、ヘルプを確認してください。
- 「WinDVD Creator」の問い合わせは、インタービデオジャパン ユーザーサポートへお願いいたします。詳細はP43を確認してください。

文書や表、メールを作る

Microsoft® Office Personal Edition 2003（マイクロソフト オフィス パーソナル エディション）

＊Office搭載モデルのみ

Microsoft® Office Personal Edition 2003には、次のアプリケーションが含まれています。

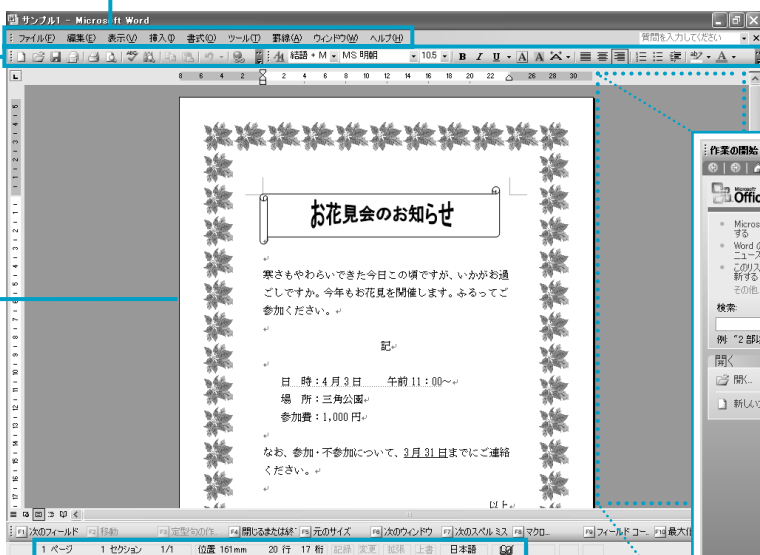
・Microsoft® Office Word 2003（ワープロソフト）
・Microsoft® Office Excel 2003（表計算ソフト）
・Microsoft® Office Outlook® 2003（電子メール／スケジュール管理ソフト）

案内状や報告書を作る（Microsoft® Office Word 2003）

Word 2003は、きれいに体裁を整えた文書を作ることができるワープロソフトです。文字の種類や大きさを決めたり、文書に表やさし絵を入れたり、他のソフトで作った画像やグラフを貼り付けたりすることができます。書類作成などで大変役立ちます。

Word 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

作業ウィンドウ＊
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Word 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、✕ をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

文書ウィンドウ

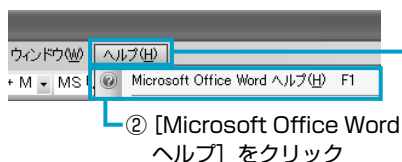
ステータスバー
Word 2003の作業状態がわかります。

起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Word 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

Word 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Office Word ヘルプ］をクリック

表やグラフを作る（Microsoft® Office Excel 2003）

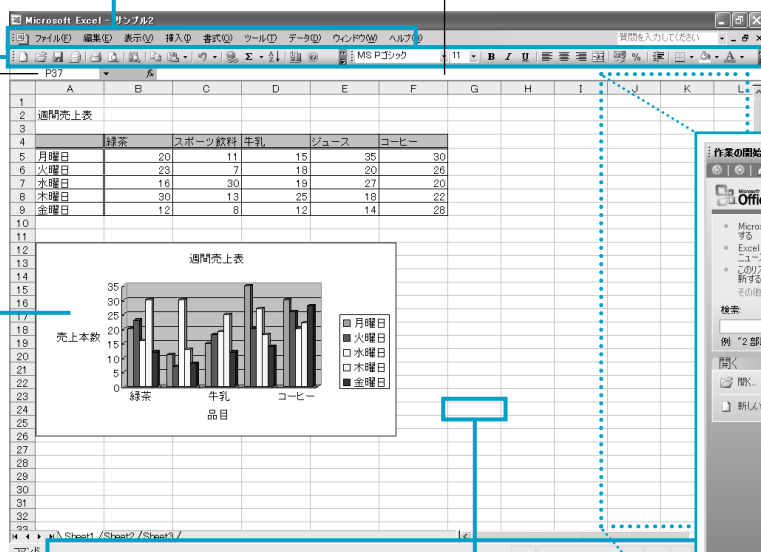
Excel 2003は、見積書や請求書、数字の多い報告書などを作成できる表計算ソフトです。項目や数字を入力して表を作り、計算式を設定すると自動的に計算を行うことができます。合計、平均、パーセント、標準偏差などの計算が可能です。また、入力した数字からグラフを作ることもできます。

Excel 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

名前ボックス
セル番地（列番号＋行番号）で選択しているセルの位置などを表示します。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

数式バー
セルの内容（数値、数式、文字）を表示します。

作業ウィンドウ*
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Excel 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、✕ をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

ワークシート

セル
ワークシートを構成するマスのことです。ここに数値、数式、文字を入力します。

ステータスバー
Excel 2003の作業状態がわかります。

起動方法

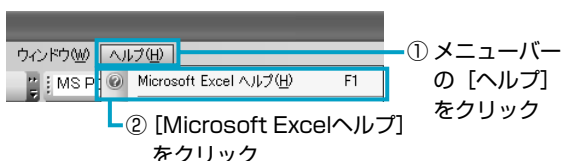
起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Excel 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

Excel 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

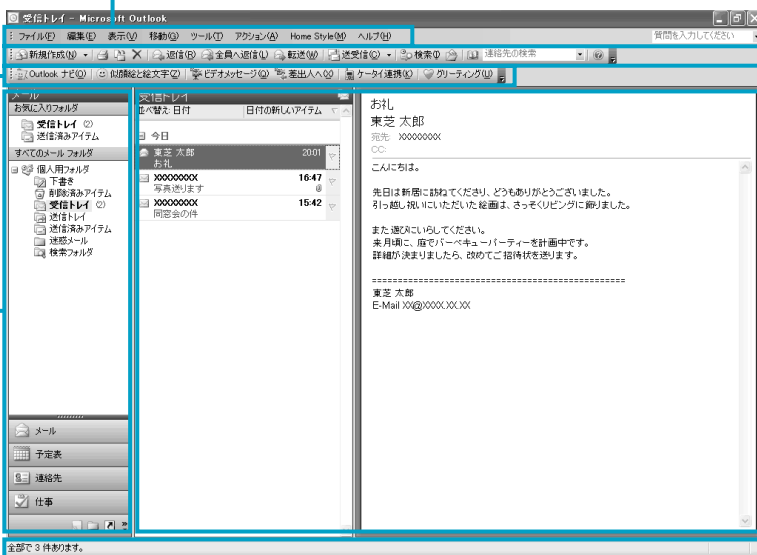
② ［Microsoft Excelヘルプ］をクリック

メールをしたい（Microsoft® Office Outlook® 2003）

Outlook 2003は電子メールをはじめとして、予定表・連絡先・仕事の情報・Webサイトへのアクセスなどを管理できるスケジュール管理ソフトです。
ここでは、電子メールの機能について簡単に紹介します。

Outlook 2003は、プロバイダとの契約やメールの設定などが完了してから使用してください。設定内容の詳細については、契約したプロバイダに問い合わせてください。プロバイダによっては、Outlook 2003をメールソフトとして使用できない場合がありますので、契約するプロバイダが対応しているかどうか、確認してください。

Outlook 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

Home Styleツールバー
Outlook 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。表示されるボタンは、選択されているフォルダによって異なります。

閲覧ウィンドウ
選択したメールフォルダの内容が表示され、メールを閲覧することができます。

ステータスバー
Outlook 2003の状態を表示します。

ナビゲーションウィンドウ
［メール］ボタンをクリックすると、ウィンドウ上側にメールフォルダが表示されます。

起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Outlook 2003］をクリックする

初めてOutlook 2003を起動したときは、［Outlook 2003 スタートアップ］画面が表示されます。
画面に従って操作してください。

ヘルプの起動方法

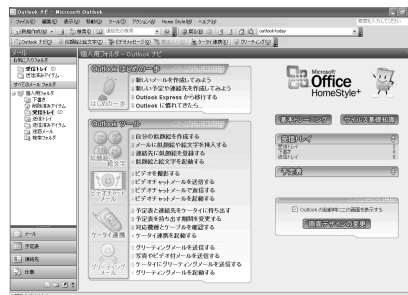
Outlook 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

Home Style+を活用する

「Microsoft® Office Home Style+」は、Office Personal 2003にさまざまな機能を追加するソフトウェアです。「Outlookナビ」で、Outlook 2003の使いかたを調べることができたり、Home Styleツールバーでは、自分の似顔絵の作成や動画を使ったメールの送信、携帯電話とOutlook2003の連携を行うことができます。詳しくは、「Outlookナビ」を確認してください。

① Outlook 2003起動後、Home Styleツールバーの［Outlookナビ］ボタンをクリックする
② 知りたい項目をクリックする
　ヘルプが表示されます。

Home Style+をより詳しく知りたいときは、「Microsoft® Office Home Style+ ガイド」を確認してください。
① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft® Office Home Style+ ガイド］をクリックする
② 使いたい機能のボタンをクリックする
　機能のヘルプやウィザードが表示されます。

＊ Home Style+ は購入時にはインストールされていません。同梱の「Microsoft® Office Personal Edition 2003」のCD-ROMからインストールしてください。

【初めて Office Personal 2003を起動したとき】

・ Office Personal 2003のいずれかのアプリケーションを初めて起動したときは、［ユーザー名の指定］画面と［Microsoft Office 使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。

【再セットアップしたとき】

・ 再セットアップでは、Office Personal 2003は復元されません。Windowsのセットアップが終了した後に、『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』をよく読んで、復元してください。また、ライセンス認証を行う必要があります。詳細は『困ったときは 4章 再セットアップ』を確認してください。
・ 再セットアップ後、Office Personal 2003を復元する前にメールソフトを起動すると、Outlook Expressが起動します。Office Personal 2003の復元後は、Outlook 2003が起動します。

【Service Packおよび最新アップデート情報】

・ Office Personal 2003のService Packおよび最新アップデート情報については、Office Updateサイト（http://office.microsoft.com/OfficeUpdate/）の中のOffice 2003をご参照ください。
　なお、Home Style+のアップデートを行う場合は、あらかじめ添付のCD-ROMからHome Style+がインストールされている必要があります。

【「Word 2003／Excel 2003／Outlook 2003／Home Style+」の問い合わせ先】

マイクロソフト 無償サポート

＜TEL＞
　TEL：東京：03-5354-4500
　　　　大阪：06-6347-4400
　※次の情報をお手元に用意してご連絡ください。
　郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お問い合わせ製品のプロダクトID
　詳細は、製品添付の「パッケージ内容一覧」をご覧ください。

＜受付時間・お問い合わせ回数＞
● セットアップ、インストールに関するお問い合わせ
　受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　　　　　　　10:00～17:00（土曜日、日曜日）
　　　　　　　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く。日曜日が祝祭日の場合は営業いたします。その場合、振替休日は休業させていただきます）
　回数　　　：指定はございません。

● 基本操作に関するお問い合わせ
　受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　　　　　　　10:00～17:00（土曜日）
　　　　　　　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く）
　回数　　　：4インシデント（4件のご質問）
インシデント制など詳細については『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』の「お問い合わせについて」をご覧ください。

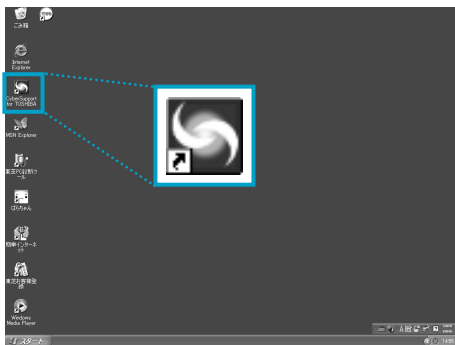
＜ホームページ＞
　ホームページ：http://support.microsoft.com/
※ 電話サポート（無償）もしくは、製品サポートからお問い合わせになる製品をお選びください。
　備考　　　：マイクロソフトサポートWeb上から直接インターネットを通じてお問い合わせも可能です。
　答えてねっと：http://www.kotaete-net.net/

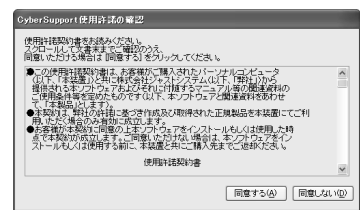
サイバーサポートを使う
サイバー　サポート　フォー　トウシバ
CyberSupport for TOSHIBA

わからないことを調べるには、「サイバーサポート」を使います。「サイバーサポート」では質問を入力して検索したり、Q&A集や用語集を確認することができます。また、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」に本製品に関する新着情報があるかどうかを確認することもできます。

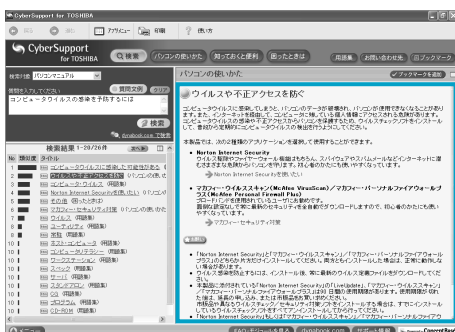
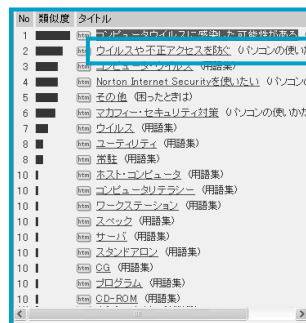
サイバーサポートで調べる

ここでは、質問を入力して、わからないことを調べる方法を説明します。

1 ［CyberSupport for TOSHIBA］アイコンをダブルクリックする

【初めて起動したとき】

［使用許諾の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。

5 見たい項目をクリックする

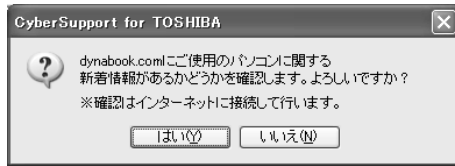
手順5の後で［トピックの検索］画面が表示される場合は、［表示］ボタンをクリックしてください。

6 検索が完了する

項目の内容が表示されます。

サイバーサポートってどんなもの？

サイバーサポート（「CyberSupport for TOSHIBA」）を使うと、次のようなことができます。
① わからないことや知りたいことを検索できる（ヘルプ機能）
② 目的に合ったアプリケーションを簡単に起動できる
③ パソコンの使いかたや知っておくと便利なこと、用語集などを確認することができる

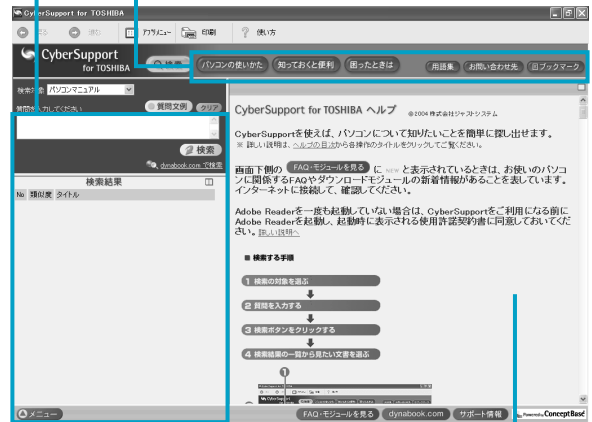
① は、質問を入力すると、Windowsやアプリケーションのヘルプなど、総合的な情報の中から関連する項目を探し出して表示します。
さらにインターネットに接続して、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ）」などに掲載されている情報の中から探し出すこともできます。
② は、やりたいことはわかっているけれど、どのアプリケーションを使えばよいかわからないときに便利な機能です。用途別に分類されているメニューの中から、目的に合ったアプリケーションを起動することができます。

2 「dynabook.com」の新着情報を確認する場合は［はい］ボタンをクリックする

確認する必要のない場合は、［いいえ］をクリックしてください。

新着情報が確認したいのに、画面が表示されない場合は、次のように操作してください。

① 画面左下の［メニュー］ボタンをクリックし、表示されたメニューから［オプション］をクリックする
② ［CyberSupport起動時に確認する］と［確認メッセージを表示する］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする
③ ボタンをクリックしてサイバーサポートを終了する
④ サイバーサポートを起動する

検索条件を指定します。
また検索結果の一覧を表示します。

パソコンの使いかた／知っておくと便利／困ったときは／用語集などの各情報が項目ごとに掲載されています。見たい項目のボタンをクリックしてください。

検索結果の一覧から選んだ項目の内容が表示されます。

3 検索対象を選択する

ここでは「パソコンマニュアル」を選択したままにします。

① をクリック

② ［パソコンマニュアル］をクリック

サイバーサポートを起動したときに、検索画面が表示されていない場合は、［検索］ボタン（検索）をクリックしてください。

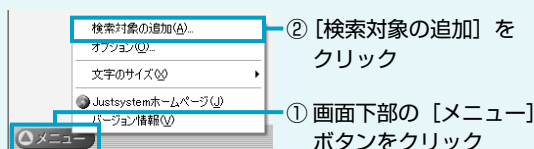
4 質問を入力して検索する

① 質問を入力

② ［検索］ボタンをクリック

「dynabook.com」へ接続し、「よくあるご質問（FAQ）」と「ダウンロード」に掲載されている本製品の情報を検索することができます。手順4-②で［dynabook.comで検索］（dynabook.com で検索）をクリックしてください。

メモ

検索対象を追加することができます。操作方法は次のとおりです。

② ［検索対象の追加］をクリック

① 画面下部の［メニュー］ボタンをクリック

③ ［アプリケーション一覧］から登録したいヘルプを選択し、［OK］ボタンをクリック
表示されるメッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックしてください。

「dynabook.com」の情報を見る

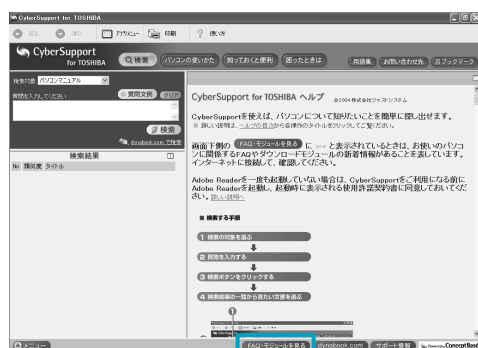
サイバーサポートでは、 dynabook.com ボタンを使ってブラウザを起動し、「dynabook.com」のページを表示することができます。「dynabook.com」では、製品に関する最新の情報やお客様からのよくあるご質問を紹介しています。製品に関してわからないことがあった場合は、まず「dynabook.com」を確認してみてください。

1 **サイバーサポートの［dynabook.com］ボタンをクリックする**

「dynabook.com」が表示されます。

FAQやダウンロードモジュールを確認する

サイバーサポートは、「dynabook.com」に掲載されているFAQやダウンロードモジュールの情報の中から、自動的に本製品に関することだけを簡単に表示させることができます。また、サイバーサポート起動時に新着情報があるかどうかを確認した後、［FAQ・モジュールを見る］ボタンに「NEW」と表示された場合は、本製品に関する新しいFAQやダウンロードモジュールが追加されていることを示します。

1 **サイバーサポートの［FAQ・モジュールを見る］ボタンをクリックする**

［FAQ・モジュールを見る］ボタンは、サイバーサポート起動時に確認した新着情報の結果によって変わります。

ボタン	状態
NEW FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュール両方に新着情報があるとき
NEW FAQを見る	FAQに新着情報があるとき
NEW モジュールを見る	ダウンロードモジュールに新着情報があるとき
FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュールの両方とも新着情報がないとき

新着情報を表示します。

以前から掲載されている情報の中から期間を指定して表示します。

「dynabook.com」について

東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」では、「よくあるご質問（FAQ）」や、デバイスドライバや修正モジュールのダウンロード、Windows関連情報を提供しています。また、サポート窓口や修理についても案内しています。

＊画面は実際の表示内容と異なる場合があります。

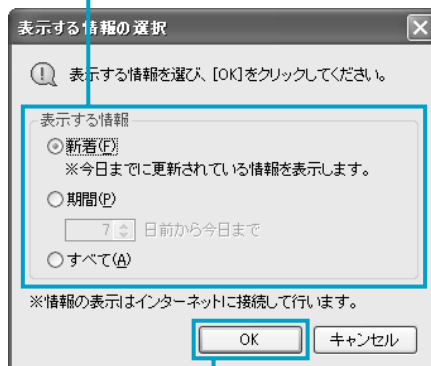
［サポート情報］タブをクリックすると、サポート情報のページが表示されます。

各項目をクリックして、情報を確認してください。キーワードや文章を入力して検索したり、メールで質問を寄せていただくこともできます。

＊このページは、「Internet Explorer」を起動すると、最初に表示されるように設定されています（購入時の状態）。

2 表示する情報の期間を選択をする

新着情報を確認したいときは［新着］をチェックします。期間を指定したいときは［期間］をチェックし、日数を指定します。

① 期間を選択する

② ［OK］ボタンをクリック

情報が表示されました。

【「CyberSupport for TOSHIBA」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル　：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間　　　：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

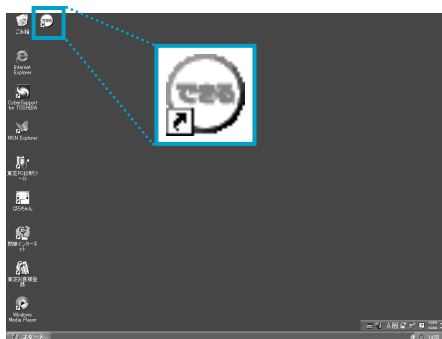
パソコンの基本操作を学習する

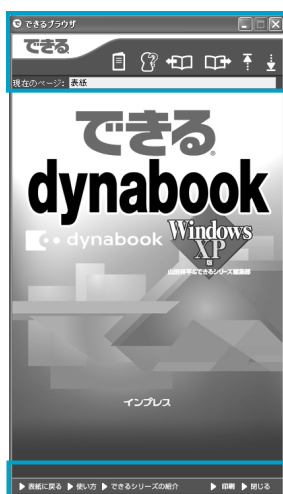
できるdynabook（ダイナブック）

パソコンの基本操作を学習するには、「できるdynabook」を使います。Windows、インターネット、メールの基本操作について、レッスンごとに紹介されており、パソコンの画面上で学習することができます。

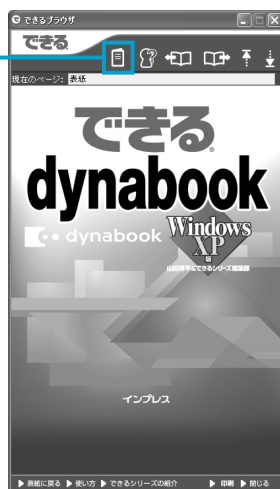
「できるdynabook」を操作する

1 [できるdynabook] アイコンをダブルクリックする

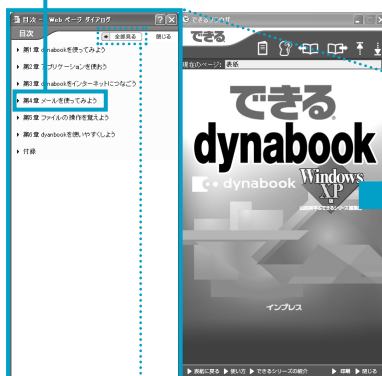
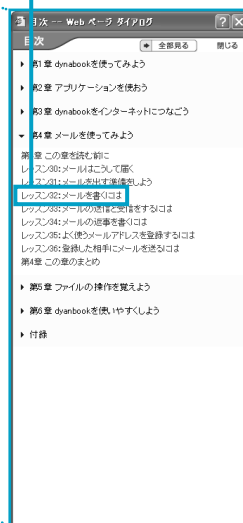
メモ

「できるdynabook」は常に最前面に表示されるように設定されています。[最小化] ボタンをクリックすると、画面右下の通知領域にアイコンを残して表示が消えます。元の大きさに表示を戻すときは、通知領域のアイコンをクリックしてください。

2 起動する

レッスンの画面を開く

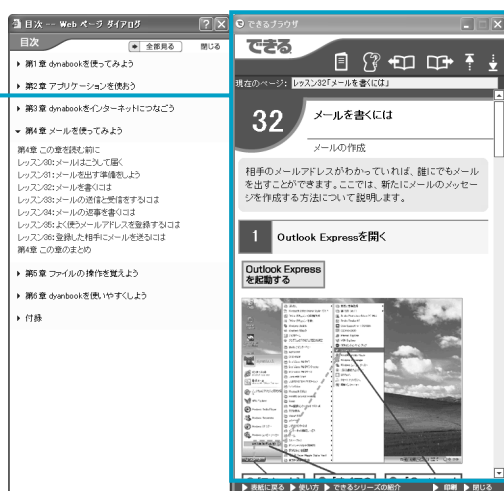
ここでは、メールの操作を学習する目的を例にして、レッスンの画面を開く方法を説明します。

1 目次をクリックする

2 目的のレッスンをクリックする

ここでは、メールソフト「Outlook Express」でのメールの作成方法を学習する画面を表示します。

①［第4章 メールを使ってみよう］をクリック

②［レッスン32：メールを書くには］をクリック

［全部見る］をクリックすると、目次の全項目が表示されます。

3 レッスン画面が表示される

画面の指示に従って学習してください。

「できるdynabook」では、次の内容を学習できます。

- 第1章 ：dynabookを使ってみよう
  - ・パソコンの基本操作について
- 第2章 ：アプリケーションを使おう
  - ・文字入力やファイルの作成方法など
- 第3章 ：dynabookをインターネットにつなごう
  - ・インターネットの接続／操作方法など
- 第4章 ：メールを使ってみよう
  - ・「Outlook Express」を使ったメールの設定／操作方法など
- 第5章 ：ファイルの操作を覚えよう
  - ・フォルダやファイルについて
- 第6章 ：dynabookを使いやすくしよう
  - ・デスクトップのデザインや時刻の変更方法など

【「できるdynabook」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル ：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

プロバイダの問い合わせ先

＊2004年9月現在の情報です。各社の事情で、電話番号、受付時間、ホームページのアドレスなどが異なることがあります。

「簡単インターネット」やプロバイダサインアップソフトから契約できるプロバイダの問い合わせ先は、次のとおりです。

かるがるネット

かるがるネットサポートセンター

受付時間　：9:30～18:30（土・日・祝日を除く）
TEL　：03-5777-0670
FAX　：03-5777-0665
E-mail　：info@karugaru.net
ホームページ　：http://www.karugaru.net/

AOL

AOLメンバーサポートセンター

受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
TEL　：0120-275-265　＊携帯電話、PHSの場合：03-5331-7400
FAX　：0120-379-930（自動案内）
ホームページ　：http://support.aol.co.jp/

@nifty

@niftyブロードバンド導入ご相談窓口

受付時間　：毎日9:00～21:00　＊ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。
TEL　：0120-816-042（フリーダイヤル）
＊携帯電話、PHS、海外の場合：03-5753-2374（電話料金はお客様ご負担となります。）
お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。
E-mail　：feedback@nifty.com
ホームページ　：http://www.nifty.com/support/madoguchi/madoguchi_tellist.htm

BIGLOBE

NEC BIGLOBEカスタマーサポート

インフォメーションデスク
受付時間　：9:00～22:00 365日受付
TEL　：0120-86-0962　携帯電話、PHS、CATV電話のかたはこちらへ：03-3947-0962
＊電話番号は、おかけ間違いのないようお願いします。
ホームページ　：http://support.biglobe.ne.jp/

DION

KDDIカスタマーサービスセンター

●サービス内容に関するお問合わせ
TEL　：0077-7192（無料／9:00～21:00／土・日・祝日も受付中）

●接続・設定に関するお問合わせ
TEL　：0077-7084（無料／24時間受付／土・日・祝日も受付中）

ホームページ　：http://www.dion.ne.jp/
メールでのお問い合わせはホームページから：http://cs119.kddi.com/dion/

infoPepper

infoPepperインターネットサービス

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（休業日を除く月曜～金曜）
TEL　：044-201-0450
FAX　：044-246-1131
FAX・音声情報サービス：044-201-0449（24時間受付）
E-mail　：support@staff.pep.ne.jp
ホームページ　：http://www.pep.ne.jp/

OCN

●OCNサービスの入会に関するご相談

OCNヘルプデスク

TEL　：0120-047-747
受付時間　：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝）※年末、年始を除く

●OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先

OCNカスタマサポート

TEL　：0120-047-860
FAX　：0120-047-861
受付時間　：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝日）※年末、年始を除く
E-mail　：support@ocn.ad.jp
ホームページ　：http://www.ocn.ne.jp/

ODN

ODNサポートセンター

●ODNサービスに関するお問い合わせ

ダイヤルアップコース
TEL　：0088-86（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

快適ブロードバンドコース
TEL　：0088-222-375（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

●接続に関するお問い合わせ

ダイヤルアップコース
TEL　：0088-85（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

快適ブロードバンドコース
TEL　：0088-228-325（無料）
受付時間　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

●E-mail・FAXによるお問い合わせ

E-mail　：odn-support@odn.ad.jp（サービス案内）
tech-support@odn.ad.jp（接続サポート）
info-adsl@odn.ad.jp（ブロードバンドお問い合わせ）
ODN FAX BOX　：0088-218-586（無料）

POINT［POWERED INTERNET］

POINTコールセンター

受付時間　：10:00～21:00（平日）　10:00～18:00（土日祝）
TEL　：0081-1588（無料）
0120-719-033　（無料）
携帯電話／PHSからは03-4316-4050
E-mail　：http://www.point.ne.jp/support/shiryou/（各種資料請求フォーム）
http://www.point.ne.jp/help/question/（お問い合わせフォーム）
ホームページ　：http://www.point.ne.jp/

So-net

So-netインフォメーションデスク

受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
TEL　：0570-00-1414
FAX　：03-3446-7557
E-mail　：info@so-net.ne.jp
ホームページ　：http://www.so-net.ne.jp/support/

OS／アプリケーションの問い合わせ先

＊2004年9月現在の情報です。各社の事情で、電話番号、受付時間、ホームページのアドレスなどが異なることがあります。

OSの問い合わせ先

Windows セキュリティ センターなど、Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載の新規機能についてのサポート情報は、下記のホームページをご確認ください。

http://support.microsoft.com/

Windows XPに関する一般的なお問い合わせは、東芝PCダイヤルになります。

アプリケーションの問い合わせ先

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれの問い合わせ先まで問い合わせてください。

Norton Internet Security

●技術的なお問い合わせ
シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター
受付時間　：10:00〜17:00（土・日・祝祭日を除く）

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、パッケージ製品、もしくは有償サポートチケットの購入をご検討ください。
＊テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。
ユーザー登録サイト ： http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/index.html

マカフィー・ウイルススキャン／マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（主に、ユーザ登録や更新時お支払い等、オペレーション上でのお問い合わせ。）
受付時間　：9:00〜17:00（土・日・祝祭日除く）
TEL　：0570-030-088
E-mail　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
ホームページ　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・テクニカルサポートセンター
（主に、ソフトウェアご使用上の操作方法や不具合等技術的なお問い合わせ。）
受付時間　：9:00〜21:00（年中無休）
TEL　：0570-060-033
E-mail　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp
ホームページ　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター
受付時間　：9:30〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝祭日・休業日を除く）
TEL　：03-5600-2551
FAX　：03-3634-1322
E-mail　：users@fsi.co.jp
ホームページ　：http://info.fsi.co.jp/fgw11/

The翻訳インターネット

The翻訳サポートセンター

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日ならびに本サポートセンター臨時休業日を除く）
TEL　：0120-1048-37（フリーダイヤル、携帯電話・PHSをご利用の場合：03-5465-7290）
E-mail　：honyaku@toshiba-sol.co.jp
ホームページ　：http://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/seihin/internet/index_j.htm
ユーザ登録のホームページ：https://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/regist/tti_regist.html
※「The翻訳インターネット」は、AOL専用ブラウザおよびメールソフトに連携させることはできません。

プロアトラス W3 for TOSHIBA

アルプス社　お客さま相談センター

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝祭日、休業日を除く）
TEL　：03-5319-3719
FAX　：03-5319-3720（24時間受付）
E-mail　：support@alpsmap.co.jp
製品情報サイト：http://www.alpsmap.co.jp/paw3/support/

駅すぱあと

株式会社ヴァル研究所　ユーザーサポートセンター

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）
TEL　：03-5373-3522
FAX　：03-5373-3523
E-mail　：support@val.co.jp
＊ユーザー登録されたお客様が対象となります。
ホームページ　：http://ekiworld.net/

ディズニーBB セレクト

DisneyBB サポートセンター

受付時間　：10:00～20:00（土・日・祝祭日を除く）
TEL　：044-951-5057
E-mail　：http://www.disney.co.jp/disneybb/contact
ホームページ　：http://www.disney.co.jp/disneybb/

ディズニーワンダーランド

ディズニーワンダーランド インフォメーションセンター

受付時間　：13:00～21:00
（土曜、日曜も受け付けております。受付時間は変更になる場合があります。）
TEL　：0120-391-181（フリーダイヤル）
※携帯電話・PHSからでもご利用になれます。
E-mail　：contact@disneywonderland.com
ホームページ　：http://www.disneywonderland.com/contact/

Yahoo! BB

Yahoo! JAPAN 新規Yahoo! BB申し込み受付センター

TEL　：0120-33-4546（フリーダイヤル）
受付時間　：9:00～22:00　（月曜～金曜）
8:00～22:00　（土曜、日曜、祝日）
※多数のお申し込みをいただいているため、20時以降、電話がつながりにくい場合があります。20時以前はつながりやすいので、ぜひご利用ください。

cocoa

NTTコミュニケーションズ カスタマーズフロント

TEL　：0120-506506
受付時間　：9:00～21:00：無休（年末年始を除きます）
ホームページ　：http://coden.ntt.com/

gooスティック

goo事務局

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
TEL　：045-848-4190
E-mail　：info@goo.ne.jp
ホームページ　：http://stick.goo.ne.jp

駅探エクスプレス

駅探エクスプレスサポート

受付時間　：メールのため受付時間の制限はありません。
※webmasterからの返信は、基本的に平日（10:00～18:00）の対応とさせていただいております。
また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail　：express-support@ekitan.com
ホームページ　：http://express.ekitan.com/

ホームページミックス /R.2

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口

受付時間　：平日10:00～19:00、土・日・祝日10:00～17:00（特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-2624
大阪　06-6886-2624
ホームページ　：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター

＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
受付時間　：平日10:00～19:00、土・日・祝日10:00～17:00（特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-3980
大阪　06-6886-7160
ホームページ　：http://support.justsystem.co.jp/

Ulead Video ToolBox

ユーリード　テクニカルサポート

●E-mailによるお問い合わせ
ホームページ　：http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm
上記ページではよくあるご質問（FAQ）ページを随時更新しております。まずはこちらをご確認ください。
それでも解決しない場合は、上記ページに用意されております「お問い合わせフォーム」をご利用のうえ、お問い合わせください。

●電話によるお問い合わせ
電話番号　：03-5491-5662
受付時間　：平日10:00～12:00、13:00～17:00
＊土曜、日曜、祝祭日、年末・年始はお休みです。
＊新製品発売後や時期によってはお電話がつながりにくくなります。より素早い問題解決のためにも、是非上記FAQページをご参照ください。

＜ユーザ登録について＞
お客様へのより素早く質の高いサポートをさせていただくため、ご利用製品のユーザ登録をお願いしております。
ユーザ登録はホームページより行うことができます。
下記ホームページアドレスより［登録］-［Ulead製品のユーザー登録］を選択して登録を行ってください。
ホームページ　：http://www.ulead.co.jp/

its-mo Navi デジタル全国地図

ゼンリンデータコム　お客様相談室

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝祭日・サポート窓口指定休日は除く）
TEL　：0120-210-616（フリーダイヤル）
E-mail　：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ　：http://www.zmap.net/contactus/index.html

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックスは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport、BeatJam、ホームページミックス /R.2にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・CDDBはGracenoteの商標です。
・「駅前探険倶楽部」、「駅探」は登録商標です。
・The翻訳、The翻訳インターネットは、東芝ソリューション株式会社の商標です。
・Adobe、Photoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
・駅すぱあとは、株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは、株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
・Symantec、Norton AntiVirus、LiveUpdateはSymantec Corporationの登録商標です。
Norton Internet Securityは、Symantec Corporationの商標です。
・McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
・InterVideo、WinDVD、WinDVR、WinDVD CreatorはInterVideo,Inc.の登録商標または商標です。
・Sonic RecordNow!はSonic Solutionsの登録商標です。
・「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
・TruSurround XT、WOW XT、SRSと(●)® 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
TruSurround XT、WOW XT、TruBass、SRS 3D、FOCUS技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
・infoPepperは東芝情報システム株式会社の登録商標です。
・アメリカ・オンラインおよびAOLはAOLの登録商標です。
・BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
・DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
・OCNはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
・@niftyは、ニフティ株式会社の商標です。
・ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
・So-net、ソネット、およびSo-netのロゴはソニー株式会社の商標、または登録商標です。
・かるがるネットは株式会社ジーエムエス総合研究所の登録商標です。
・メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
・xD-ピクチャーカード™は、富士フイルム株式会社の商標です。
・i.LINKは商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCダイヤルにお問い合わせください。

dynabook Qosmio 図解で読むマニュアル

平成16年9月3日　A1版発行　GX1C0006A110

発行　株式会社東芝 PC＆ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 **東芝**
PC＆ネットワーク社　PC第一事業部
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

GX1C0006A110
PRINTED IN CHINA